

平成 22 年 10 月 29 日

大阪府知事 橋下 徹 様

(住 所) 大阪府八尾市龍華町一丁目3番1号

(名 称) 八尾市立病院

(代表者) 病院長 佐々木 洋 印

大阪府がん診療拠点病院の現況報告書の提出について

標記について、「大阪府がん診療拠点病院設置要綱」に基づき、別添関係書類を添えて、現況報告書を提出します。

<指定申請:提出資料一覧>

病院名

八尾市立病院

			頁
【大阪府がん診療拠点病院 新規指定(様式)】			
様式1	(指定)	連絡先	1
様式2	(指定)	病院概要	2
様式3	(指定)	大阪府がん診療拠点病院の指定要件等について	13
【添付資料】			
資料番号	様式	内 容	
別紙1	(指定)	保有する放射線診療機器等の一覧	17
別紙2	(指定)	高度医療への対応状況(がんに関するもの)	19
別紙3	(指定)	放射線療法を連携する医療機関	20
別紙4	(指定)	診療機能(専門分野等)	21
別紙5	(指定)	院内クリティカルパス	33
別紙6	(指定)	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会	37
別紙7	(指定)	外来化学療法室に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性	38
別紙8	(指定)	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性	40
別紙9	(指定)	緩和ケアチームの組織・体制	41
別紙10	(指定)	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順	42
別紙11	(指定)	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制	43
別紙12	(指定)	緩和ケアチームに対する新規診療依頼症例	44
別紙13	(指定)	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績	45
別紙14	(指定)	緩和ケアに関する広報	48
別紙15	(指定)	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性	54
別紙16	(指定)	病理診断について協力を得られる医療機関	55
別紙17	(指定)	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性	56
別紙18	(指定)	地域の医療機関への診療支援や病連携・病診連携の体制	57
別紙19	(指定)	地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況	59
別紙20	(指定)	5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制	60
別紙21	(指定)	セカンドオピニオンに関する情報提供	65
別紙22	(指定)	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況	66
別紙23	(指定)	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会への協力及び参加状況	67
別紙24	(指定)	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象としたがんの早期診断に関する研修への協力及び参加状況	68
別紙25	(指定)	国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況	69
別紙26	(指定)	相談支援窓口の相談対応状況	70
別紙27	(指定)	相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制構築の取り組みの状況	71
別紙28	(指定)	がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口	72
別紙29	(指定)	院内がん登録の登録実施項目	77
別紙30	(指定)	患者・府民を対象としたがんに関する講演会の実施状況	78
別紙31	(指定)	府民へのメッセージ	79

がん診療連携拠点病院 新規指定・指定更新推薦書・現況報告書
 平成22年9月1日時点について記載

1. 新規・更新の別 (1) 新規指定 (2) 指定更新[指定年月日:平成21年3月31日] (3) 現況報告
 ※該当する項目を□で囲むこと。

2. 病院概要	
(1)病院名 (表紙シートの病院名を反映)	八尾市立病院
(2)所在地等	
郵便番号	581-0069
住所	八尾市龍華町1丁目3番1号
電話番号(代表)	072-922-0881
FAX番号(代表)	072-924-4820
e-mail(代表)	syomuka@city.yao.osaka.jp
HPアドレス	http://www.hospital.yao.osaka.jp
所属2次医療圏	中河内
(3)開設	
①開設者	八尾市長 田中 誠太
②開設年月日(和暦/YY/MM/DD)	昭和25年2月13日
(4)アクセス情報	
①鉄道	JR大和路線 久宝寺駅から 改札右へ徒歩約5分
②バス	近鉄バス 八尾市立病院前バス停から 徒歩 0分
③高速道路の最寄りインターチェンジ	近畿自動車道 八尾IC から 15分 近畿自動車道 長吉長原IC から 15分 阪神高速 平野IC から 20分
④駐車場	293 台
(5)面積	
①土地	14999.98 m ²
②建物	8365.38 m ²
(6)診療時間	
①外来診療受付時間	月曜～ 金曜 8時45分 ～ 11時30分(予約患者については14時30分)
②外来診療時間	月曜～ 金曜 9時00分 ～ 15時00分
③休診日	毎週 土・日曜日、その他(国民の祝日・12/30～1/4)
④初診時の予約の要否	一部の診療科で必要 (すべての診療科で必要・一部の診療科で必要・不要)
⑤初診時の紹介状の要否	一部の診療科で必要 (すべての診療科で必要・一部の診療科で必要・不要)

(7)診療科

開設診療科名(医療法施行令第3条の2(法第6条の6第1項に規定する政令で定める診療科名))を以下に記載

開設診療科一覧について、ホームページで公開している場合は、そのページのURL

www.hospital.yao.osaka.jp/department/department

診療科	あり	(あり・休診中・なし)
内科	あり	(あり・休診中・なし)
呼吸器内科	なし	(あり・休診中・なし)
循環器内科	なし	(あり・休診中・なし)
消化器内科	なし	(あり・休診中・なし)
心臓内科	なし	(あり・休診中・なし)
血液内科	なし	(あり・休診中・なし)
気管食道内科	なし	(あり・休診中・なし)
胃腸内科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍内科	なし	(あり・休診中・なし)
糖尿病内科	なし	(あり・休診中・なし)
代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)
内分泌内科	なし	(あり・休診中・なし)
脂質代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)
腎臓内科	なし	(あり・休診中・なし)
神経内科	あり	(あり・休診中・なし)
心療内科	なし	(あり・休診中・なし)
感染症内科	なし	(あり・休診中・なし)
漢方内科	なし	(あり・休診中・なし)
老年内科	なし	(あり・休診中・なし)
女性内科	なし	(あり・休診中・なし)
新生児内科	なし	(あり・休診中・なし)
性感染症内科	なし	(あり・休診中・なし)
内視鏡内科	なし	(あり・休診中・なし)
人工透析内科	なし	(あり・休診中・なし)
疼痛緩和内科	なし	(あり・休診中・なし)
ペインクリニック内科	なし	(あり・休診中・なし)
アレルギー疾患内科	なし	(あり・休診中・なし)
内科(ペインクリニック)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(循環器)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(薬物療法)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(感染症)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(骨髄移植)	なし	(あり・休診中・なし)
外科	あり	(あり・休診中・なし)
呼吸器外科	なし	(あり・休診中・なし)
心臓血管外科	なし	(あり・休診中・なし)
心臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
消化器外科	なし	(あり・休診中・なし)
乳腺外科	なし	(あり・休診中・なし)
小児外科	なし	(あり・休診中・なし)
気管食道外科	なし	(あり・休診中・なし)
肛門外科	なし	(あり・休診中・なし)
整形外科	あり	(あり・休診中・なし)
脳神経外科	あり	(あり・休診中・なし)
形成外科	あり	(あり・休診中・なし)
美容外科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍外科	なし	(あり・休診中・なし)
移植外科	なし	(あり・休診中・なし)
頭頸部外科	なし	(あり・休診中・なし)
胸部外科	なし	(あり・休診中・なし)
腹部外科	なし	(あり・休診中・なし)
肝臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
膵臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
胆のう外科	なし	(あり・休診中・なし)
食道外科	なし	(あり・休診中・なし)
胃外科	なし	(あり・休診中・なし)
大腸外科	なし	(あり・休診中・なし)
内視鏡外科	なし	(あり・休診中・なし)
ペインクリニック外科	なし	(あり・休診中・なし)
外科(内視鏡)	なし	(あり・休診中・なし)
外科(がん)	なし	(あり・休診中・なし)
精神科	なし	(あり・休診中・なし)
アレルギー科	なし	(あり・休診中・なし)
リウマチ科	なし	(あり・休診中・なし)
小児科	あり	(あり・休診中・なし)
皮膚科	あり	(あり・休診中・なし)
泌尿器科	あり	(あり・休診中・なし)

(8)病床数等（平成22年9月1日時点）	
①病床数	
総数	380床
うち療養病床	0床
うち一般病床	380床
うち特別療養環境室としている病床	89床
②診療機器の保有状況等	
	別紙1
X線CT装置	1台
うちマルチスライスCT装置	2台
MRI装置	2台
核医学検査装置	1台
うちPET(陽電子断層撮影)検査装置	0台
血管造影撮影装置	1台
放射線治療装置（リニアック又はマイクロロンに限る）	1台
バーチャルスライド装置	0台
(9)診療報酬に係る施設基準等	
①施設基準を取得した病床数	
一般病棟入院基本料(A100)	330床
療養病棟入院基本料(A101)	0床
特定機能病院入院基本料(A104)	0床
専門病院入院基本料(A105)	0床
救命救急入院料(A300)	0床
特定集中治療室管理料(A301)	5床
ハイケアユニット入院医療管理料(A301-2)	0床
小児入院医療管理料1(A3071)	0床
小児入院医療管理料2(A3072)	39床
小児入院医療管理料3(A3073)	0床
回復期リハビリテーション入院料(A308)	0床
亜急性期入院医療管理料(A308-2)	0床
特殊疾患療養病棟入院料(A309)	0床
緩和ケア病棟入院料(A310)	0床
新生児特定集中治療室管理料(A302)	6床

②届出された先進医療の状況等			
先進医療への対応状況(がんに関するもの)			別紙2
③診療報酬に係る施設基準等(件数は平成21年9月-平成22年8月の集計)			
DPC対象病院			はい (はい・いいえ)
DPC準備病院(H22年度調査参加)			いいえ (はい・いいえ)
がん診療連携拠点病院加算(A232)	なし	(あり、なし)	0 件入院1回
退院時共同指導料2 (B005)	なし	(あり、なし)	0 件入院中1回
緩和ケア診療加算(A226-2)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
緩和ケア病棟入院料(A310)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
麻薬管理指導加算(B008)	あり	(あり、なし)	0 件1回につき
がん性疼痛緩和指導管理料(B001-22)	あり	(あり、なし)	477 件月回
リンパ浮腫指導管理料(B001-7)	あり	(あり、なし)	39 件入院中1回
外来化学療法加算 I(第6部 通則)	あり	(あり、なし)	3,434 件1日につき
外来化学療法加算 II(第6部 通則)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
診療録管理体制加算(A207)	あり	(あり、なし)	6,614 件入院初日(期間内に新たに入院された患者の数を計上)
医師事務作業補助体制加算(A207-2)	あり	(あり、なし)	6,614 件入院初日(期間内に新たに入院された患者の数を計上)
栄養管理実施加算(A233)	あり	(あり、なし)	108,581 件1日につき
医療安全対策加算(A234)	あり	(あり、なし)	8,551 件入院初日
退院調整加算(A238)	あり	(あり、なし)	0 件入院時1回、退院時1回
救命救急入院料1(A300)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
救命救急入院料2(A300)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
特定集中治療室管理料(A301)	あり	(あり、なし)	1,100 件1日につき
ハイケアユニット入院医療管理料(A301-2)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
ニコチン依存症管理料(B001-3-2)	なし	(あり、なし)	0 件診療回数に応じて
在宅療養支援病院の施設基準	なし	(あり、なし)	件数は計上しない。
がん治療連携計画策定料(計画策定病院)(B001-2)	なし	(あり、なし)	0 件退院時1回
薬剤管理指導料(B008)	あり	(あり、なし)	9,182 件週1回
医療機器安全管理料(B011-4)	あり	(あり、なし)	363 件1月につき、放射線治療は一連で1回
検体検査管理加算(III)(D026)	なし	(あり、なし)	0 件月1回
遺伝カウンセリング加算(D026)	なし	(あり、なし)	0 件月1回
画像診断管理加算2(第4部 通則)	あり	(あり、なし)	14,264 件月1回
遠隔画像診断による画像診断の施設基準	なし	(あり、なし)	0 件月1回
ポジトロン断層撮影(E101-2)	なし	(あり、なし)	0 件一連につき1回
コンピューター断層複合撮影の施設基準	なし	(あり、なし)	0 件一連につき1回
無菌製剤処理料1(G020)	あり	(あり、なし)	4,074 件1日につき
輸血管理料 I(K920-2)	なし	(あり、なし)	0 件月1回
輸血管理料 II(K920-2)	あり	(あり、なし)	656 件月1回
放射線治療管理料(M000)	あり	(あり、なし)	209 件分布図作成1回につき1回、治療過程において2回
放射線治療専任加算(M000)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
外来放射線治療加算(M000)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき1回
高エネルギー放射線治療の施設基準(M001)	あり	(あり、なし)	4,138 件1回
強度変調放射線治療(IMRT)の施設基準(M001)	なし	(あり、なし)	0 件1回
直線加速器による定位放射線治療の施設基準(M001-3)	なし	(あり、なし)	0 件1回
テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製料(N001)	あり	(あり、なし)	0 件1手術につき
がん患者カウンセリング料(B001-23)	あり	(あり、なし)	0 件1回

(10)職員数	総職員数 (事務職員含む)	516人
---------	------------------	------

・常勤医師数:「常勤」とは、当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべて勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。

①職種別内訳

※複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種についてのみ記載。

非常勤

常勤

※(常勤換算)

	非常勤	常勤
医師	0人	87人
歯科医師	0人	3人
薬剤師	0人	16人
保健師	0人	0人
助産師	0.8人	22人
看護師	6.29人	277人
准看護師	0.65人	15人
理学療法士	0人	4人
作業療法士	0人	0人
視能訓練士	0人	2人
言語聴覚士	0人	1人
義肢装具士	0人	0人
歯科衛生士	0人	1人
歯科技工士	0人	0人
診療放射線技師	0人	15人
臨床検査技師	0人	17人
衛生検査技師	0人	0人
臨床工学技士	0人	1人
管理栄養士	0人	3人
栄養士	0人	0人
社会福祉士	0人	1人
精神保健福祉士	0人	0人
介護福祉士	0人	0人

※②～④については、複数の資格を持つものは、両方にカウントする。

非常勤

常勤

②医師等の専門性に関する資格名に該当する人数等について

※(常勤換算)

	非常勤	常勤
(社) 日本整形外科学会 整形外科専門医	0人	3人
(社) 日本皮膚科学会 皮膚科専門医	0人	1人
(社) 日本麻酔科学会 麻酔科専門医	0人	4人
(社) 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	0人	3人
(社) 日本医学放射線学会 放射線治療専門医	0人	0人
(財) 日本眼科学会 眼科専門医	0人	3人
(社) 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医	0人	4人
(社) 日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医	0人	2人
(社) 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	0人	3人
(社) 日本形成外科学会 形成外科専門医	0人	1人
(社) 日本病理学会 病理専門医	0.2人	1人
(社) 日本内科学会 総合内科専門医	0人	5人
(社) 日本外科学会 外科専門医	0人	7人
(社) 日本肝臓学会 肝臓専門医	0人	4人
(社) 日本感染症学会 感染症専門医	0人	0人
(社) 日本血液学会 血液専門医	0人	5人
(社) 日本呼吸器学会 呼吸器専門医	0人	0人
(財) 日本消化器病学会 消化器病専門医	0人	5人
(社) 日本腎臓学会 腎臓専門医	0人	0人
(社) 日本小児科学会 小児科専門医	0人	8人
有限責任中間法人 日本消化器外科学会 消化器外科専門医	0人	5人
(社) 日本超音波医学会 超音波専門医	0人	0人
特定非営利活動法人 日本臨床細胞学会 細胞診専門医	0人	1人
(社) 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医	0人	0人
(社) 日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医	0人	0人
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医	0人	0人
(社) 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	0人	2人
特定非営利活動法人 日本小児外科学会 小児外科専門医	0人	0人
有限責任中間法人 日本乳癌学会 乳癌専門医	0人	2人
特定非営利活動法人 日本レーザー医学会 レーザー専門医	0人	0人
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	0人	0人

有限責任中間法人 日本核医学会 核医学専門医	0	人	0	人
特定非営利活動法人 日本気管食道科学会 気管食道科専門医	0	人	0	人
有限責任中間法人 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医	0	人	0	人
特定非営利活動法人 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医	0	人	0	人
有限責任中間法人 日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医	0	人	3	人
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	0	人	2	人
有限責任中間法人 日本総合病院精神医学会 一般病院精神医学専門医	0	人	0	人
日本緩和医療学会 専門医	0	人	0	人
日本緩和医療学会 暫定指導医	0	人	0	人
がん治療認定医機構 がん治療認定医	0	人	2	人
日本放射線腫瘍学会 認定医	0	人	0	人
(社) 日本精神神経学会 精神科専門医	0	人	0	人
(社) 日本泌尿器科学会/日本Endourology・ESWL学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医	0	人	0	人
日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定所得者	0	人	0	人
日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定所得者	0	人	0	人
日本IVR学会IVR 専門医	0	人	0	人
有限責任中間法人 日本核医学会 PET核医学認定医	0	人	0	人
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医師A	0	人	3	人
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医師B	0	人	0	人
その他学会・専門医等(記載は10個まで 暫定指導医、暫定教育医等は記載しないこと)				
日本循環器学会専門医	0	人	3	人
日本血液学会指導医	0	人	3	人
日本感染症学会ICD認定医	0	人	1	人
日本乳癌学会乳腺専門医	0	人	2	人
日本乳癌学会認定医	0	人	2	人
日本肝胆膵外科学会高度技能指導医	0	人	1	人
日本消化器内視鏡学会専門医	0	人	2	人
日本老年医学会専門医	0	人	1	人
	0	人		人
	0	人		人
歯科医師				
(社) 日本口腔外科学会 口腔外科専門医	0	人	1	人
(社) 日本病理学会 口腔病理専門医	0	人	0	人
看護師				
(社) 日本看護協会 がん看護専門看護師	0	人	0	人
(社) 日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	0	人	0	人
(社) 日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師	0	人	0	人
(社) 日本看護協会 乳がん看護認定看護師	0	人	0	人
(社) 日本看護協会 緩和ケア認定看護師	0	人	2	人
(社) 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	0	人	1	人
(社) 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師	0	人	0	人
(社) 日本看護協会 手術看護認定看護師	0	人	0	人
IVR学会認定看護師	0	人	1	人

③その他専門的技術・知識を有する医療従事者		※(常勤換算)		常勤	
日本医療薬学会 がん専門薬剤師	0	人		0	人
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	0	人		0	人
日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師	0	人		0	人
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	0	人		4	人
日本臨床細胞学会 細胞検査士	1	人		3	人
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ撮影診療放射線	0	人		5	人
日本医学放射線学会 医学物理士	0	人		0	人
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	0	人		1	人
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	0	人		1	人
四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士	0	人		5	人
その他					
医療情報技師	0	人		1	人
					人
					人
④その他の従事者					
医療ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神保健福祉士以外)	0	人		2	人
診療録管理部門の職員	0	人		4	人
医療心理に携わる者	0	人		1	人
治験コーディネーター	0	人		0	人
データマネージャー	(医学研究、特に臨床研究において、研究データの収集や入力、データの品質管理を担うデータマネージメントの専門家。医学知識、生物統計学の基礎知識、データベース等の情報工学の基礎知識を要する。)	0	人		0人
生物統計家	(統計学を専門とする統計家のうち、医学・薬学・農学・心理学などの生命科学に特化した知識・経験を有する統計家。生命科学の研究デザインやデータの統計解析を担当)	0	人		0人
医師事務作業補助者	0	人		7	人
看護業務補助者	0	人		9	人 委託含む
(11)その他(平成22年9月1日現在)					
①承認等の状況					
地域医療支援病院				承認なし	(承認あり、承認なし)
開放型病院				承認なし	(承認あり、承認なし)
②夜間(深夜も含む)救急対応の可否				可	(可、否)
③各種委員会の設置状況					
倫理審査委員会	あり	(あり、なし)	年	8	回開催
治験審査委員会	あり	(あり、なし)	年	8	回開催
④診療情報管理の状況					
・病院情報システムの稼働状況					
検査オーダー				あり	(あり、なし)
処方オーダー				あり	(あり、なし)
診療予約オーダー				あり	(あり、なし)
入院病名オーダー				あり	(あり、なし)
外来病名オーダー				あり	(あり、なし)
電子カルテ				あり	(あり、なし)
・ICDコードの利用状況					
ICD-10を入院病名管理に利用している				はい	(はい・いいえ)
ICD-10を外来病名管理に利用している				はい	(はい・いいえ)
⑤遠隔医療システム等の導入状況					
遠隔画像診断				なし	(あり、なし)
遠隔病理診断				あり	(あり、なし)
在宅療養支援				なし	(あり、なし)
外来診察室におけるインターネット環境				なし	(あり、なし)
病棟におけるインターネット環境				なし	(あり、なし)

(12)患者数・診療件数の状況		
① 患者数等		
年間新入院のべ患者数（平成21年1月1日～12月31日）	9,109	人
年間新入院のべがん患者数（平成21年1月1日～12月31日）※1	1,023	人
年間新入院のべ患者数に占めるがん患者の割合	11.2%	
年間外来のべがん患者延数（平成21年1月1日～12月31日）※3	1,691	人
年間院内死亡がん患者数（平成21年1月1日～12月31日）※1	196	人
新入院のべ患者数(原則、平成22年4月1日～7月31日までの新入院患者。)	3,101	人
うちのがん患者数	400	人
(新入院患者数に占めるがん患者の割合)	12.9%	
うちのべ肺がん患者数 (ICD-10コード C34\$)	5	人
うちのべ胃がん患者数 (ICD-10コード C16\$)	51	人
うちのべ大腸がん(直腸がんを含む)患者数 (ICD-10コード C18\$, C19, C20)	60	人
うちのべ肝臓がん患者数 (ICD-10コード C22\$)	48	人
うちのべ乳がん患者数 (ICD-10コード C50\$)	53	人
* ※1 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上すること。 ※2 \$は以下の分類をすべて含んでいる。 ※3 年間外来のべがん患者延数は、+当年の新来、再来がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者のべ延数を記入する。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。 ※4 新入院のべ(がん)患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。		
② 麻酔及び手術等の状況(平成22年4月1日～7月31日)		
全身麻酔(静脈麻酔は除く)	697	件
ア 悪性腫瘍の手術件数の総数	204	件
イ 肺がん(C34\$)の手術件数		
開胸手術 K511\$, K514\$, K518\$	0	件
胸腔鏡下手術 K514-2\$	0	件
ウ 胃がん(C16\$)の手術件数		
開腹手術 K654-2, K6552, K655-42, K6572	14	件
腹腔鏡下手術 K654-3, K655-22, K657-22	3	件
内視鏡手術 粘膜切除術(EMR) K6531	0	件
内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD) K6532	10	件
エ 大腸がん(C18\$, C19, C20)の手術件数		
開腹手術 K7193, K739\$, K740\$, K748\$	18	件
腹腔鏡下手術 K719-2\$, K719-3, K740-2\$	13	件
内視鏡手術 K7211	4	件
オ 肝臓がん(C22\$)の手術件数		
開腹手術 K695\$	3	件
マイクロ波凝固法 K697-2	0	件
ラジオ波焼灼療法 K697-3	12	件
カ 乳がん(C50\$)の手術件数		
手術 K476\$	44	件
乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2	0	件
乳腺腫瘍摘出術(生検) K474\$	1	件
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3	10	件
乳房再建術(乳房切除後) 二期的に行うもの K476-32	1	件
キ 転移性肺がん(C780)の手術件数		
開胸手術 K514\$, K5182, K511\$	0	件
胸腔鏡下手術 K514-2\$, K513	0	件
ク 転移性肝がん(C787)の手術件数		
開腹手術 K695\$	4	件

③ 放射線治療	
※以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。	
ア-1 のべ患者実数（平成21年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数）	
例：平成21年3月に新患として放射線治療を受け、同年10月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。	
体外照射	69 人
そのうち特殊なもの	
定位照射(脳)	0 人
定位照射(体幹部)	0 人
強度変調放射線治療(IMRT)	0 人
小線源治療	0 人
ア-2 のべ患者実数（平成22年4月1日～7月31日の間に放射線治療を開始した患者数）	
例：平成22年4月に新患として放射線治療を受け、同年7月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。	
<入院>	
肺がん	0 人
胃がん	0 人
肝がん	0 人
大腸がん	2 人
乳がん	1 人
<外来>	
肺がん	0 人
胃がん	0 人
肝がん	0 人
大腸がん	1 人
乳がん	39 人
イ-1 照射回数（平成22年4月1日～7月31日ののべ照射回数）	
体外照射	1,269 回
そのうち特殊なもの	
定位照射(脳)	0 回
定位照射(体幹部)	0 回
強度変調放射線治療(IMRT)	0 回
小線源治療	0 回
イ-2 のべ照射回数（平成22年4月1日～7月31日）	
<入院>	
肺がん	0 回
胃がん	0 回
肝がん	0 回
大腸がん	41 回
乳がん	8 回
<外来>	
肺がん	0 回
胃がん	0 回
肝がん	0 回
大腸がん	25 回
乳がん	726 回
④ がんに係る化学療法（平成22年4月1日～7月31日）	
ア のべ患者数（化学療法1レジメンを1人として数える。内服のみのレジメンは対象外とする。）	
例：当月中に、エトポシド＋シスプラチン併用療法4コース実施した場合は1人と数える。	
<入院>	74 人
<外来>	124 人
イ のべ処方件数（抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数を掛けた数とする。内服のみのレジメンは対象外とする。）	
例：当月中に、抗がん剤が4日分処方された場合は4件と数える。	
<入院>	1,206 件
<外来>	2,223 件

⑤ 検査等の実施状況		
ア 病理診断の件数		
病理診断(平成21年1月1日～12月31日)	5,099	件
細胞診断(平成21年1月1日～12月31日)	6,809	件
病理組織迅速組織顕微鏡検査(平成21年1月1日～12月31日)	190	件
剖検(平成21年1月1日～平成21年12月31日)	7	件
剖検率(平成21年1月1日～平成21年12月31日)	2	%
イ 画像診断等の件数 (平成21年1月1日～12月31日)		
上部消化管内視鏡検査	3,271	件
気管支内視鏡検査	104	件
大腸内視鏡検査	1,536	件
血管連続撮影	356	件
スパイラルCT検査	11,834	件
CTガイド下生検	7	件
MRI検査	3,966	件
RI診断検査(シンチグラム)	1,037	件
シングルフォトンエミッションCT(SPECT)検査	887	件
PET(陽電子断層撮影)検査	0	件

指定要件での扱い
A:必須
B:原則必須
C:対応することが望ましい
-:指定要件に記載なし

1. 診療体制			
(1) 診療機能			
① 集学的治療の提供体制と標準的治療等の提供機能			
ア	5大がんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 * 「5大がん」とは、肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんをいう。 * 「集学的治療等」とは、手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせ合わせた治療をいう。 * 「放射線療法」については、他の医療機関との連携によって対応できる体制を有することも可とする。 * 「標準的治療」とは、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療をいう。	A	はい (はい・いいえ)
	放射線療法について、他の医療機関との連携によって対応する場合、放射線療法を連携する医療機関名について別紙3に記入すること。	A	別紙3
イ	5大がん以外の各医療機関が専門とするがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	A	はい (はい・いいえ)
ウ	5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんへの対応状況について、別紙4に記載すること。	A	別紙4
エ	5大がんについて、院内クリティカルパスを整備している。 * 「院内クリティカルパス」とは、検査及び治療等を含めた詳細な診療計画表をいう。	A	はい (はい・いいえ)
オ	5大がんについて、院内クリティカルパスを整備状況を別紙5に記載すること。	A	別紙5
カ	がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、カンサーボードを設置している。 * キャンサーボードとは、手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。	C	はい (はい・いいえ)
② がん化学療法の提供体制機能			
ア	外来において化学療法を提供する体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
イ	急変時等の緊急時に外来において化学療法を提供する当該がん患者が入院できる体制を確保している。	C	はい (はい・いいえ)
ウ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会を設置している。 * 「化学療法のレジメン」とは、治療内容をいう。	C	はい (はい・いいえ)
エ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会は、必要に応じて、カンサーボードと連携協力している。	C	はい (はい・いいえ)
オ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会について、別紙6に記載すること。	C	別紙6
診療従事者			
ア	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	8人
イ	うち常	B	8人
ウ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する専任医師数	C	1人
エ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専任薬剤師数	1人以上A	2人
オ	外来化学療法室(外来化学療法室を整備しない医療機関にあっては、外来において化学療法を提供する体制)における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師数	1人以上A	4人
カ	外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性について、別紙7に記載すること。	-	別紙7
③ 放射線療法の提供体制(放射線療法について他の医療機関との連携によってのみ対応する場合は、記入不要)			
診療従事者			
ア	放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	2人
イ	放射線治療に携わる専任診療放射線技師数	1人以上A	2人
ウ	放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる常勤専任技術者等の人数	1人以上A	2人
エ	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙8に記載すること	-	別紙8

④ 緩和ケアの提供体制			
機能			
ア	緩和ケアチームを整備し、当該緩和ケアチームを組織上明確に位置付けるとともに、がん患者に対し適切な緩和ケアを提供している。	A	はい (はい・いいえ)
イ	緩和ケアチームの組織上の位置づけについて別紙9に記入すること。	A	別紙9
ウ	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順を別紙10に記載すること。	A	別紙10
エ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。	C	はい
オ	緩和ケア外来患者数(平成22年1月1日～12月31日)	C	189 人
カ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制について別紙11に記載すること。	C	別紙11
オ	緩和ケアチーム並びに必要に応じて主治医及び看護師等が参加する症状緩和に係るカンファレンスが定期的に開催されている。	A	はい (はい・いいえ)
カ	緩和ケアチームに関する実績について別紙12に記入すること。	A	別紙12
カ	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績について別紙13に記入すること。	A	別紙13
キ	院内の見やすい場所に緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の掲示をするなど、がん患者に対し必要な情報提供を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
ク	緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の情報提供を実施している場合の広報手段	-	
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい (はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	http://
	4.その他の方法で掲載している。	-	いいえ (はい・いいえ)
		-	具体的に
ケ	緩和ケアチームに関する広報状況(院内掲示)について別紙14に記入すること。	A	別紙14
コ	かかりつけ医の協力・連携を得て、主治医及び看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明及び指導を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
サ	国拠点病院が実施する緩和ケアに関する地域の医療機関との連携協力体制を整備に協力している。 *「国拠点病院」とは、厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院をいう。	A	はい (はい・いいえ)
シ	緩和ケア病床数(緩和ケア病棟入院料を算定の有無は問わない)		0 床
ス	緩和ケア病棟を有している。	-	いいえ (はい・いいえ)
セ	疼痛緩和の院内マニュアルがある。(院内で統一した疼痛の評価尺度がある)	-	はい (はい・いいえ)
診療従事者			
ア	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	4 人
イ	うち常勤	1人以上B	4 人
ウ	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する専任医師数	1人以上C	0 人
エ	緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	C	0 人
オ	緩和ケアチームにおいて緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師数	1人以上A	6 人
カ	緩和ケアチームに協力する薬剤師数	1人以上C	1 人
キ	緩和ケアチームに協力する医療心理に携わる者の数	1人以上C	1 人
ク	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性について、別紙15に記載すること。	-	別紙15
⑤ 病理診断(病理診断について、他の医療機関から協力を得られることによって対応する場合は、体制のみ記入。機能以降の項目は記入不要)			
体制			
ア	専従の病理診断に携わる医師を1人以上配置するか、又は他の医療機関から協力を得られる体制が確保されている。	A	はい (はい・いいえ)
	病理診断について、他の医療機関から協力が得られる体制の場合、病理診断の協力を得られる医療機関名について別紙16に記入すること。	A	別紙16
機能			
ア	診断のダブルチェックを行っている。	-	いいえ (はい・いいえ)
イ	臨床グループとの合同カンファレンスを実施している。	-	はい (はい・いいえ)
ウ	臨床グループからの病理診断に対するフィードバックを体系的に得ている。	-	はい (はい・いいえ)
エ	同じ患者の以前の病理診断について、必要に応じて詳しい情報を引き出せるようになっている。	-	はい (はい・いいえ)
診療従事者			
ア	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上A	1 人
イ	細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有するコメディカルスタッフ数	1人以上C	4 人
ウ	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙17に記載すること	-	別紙17
⑥ 病連携・病診連携の協力体制			
ア	国拠点病院又は地域の医療機関から紹介されたがん患者の受入れを行うこと。また、がん患者の状態に応じ、地域の医療機関へがん患者の紹介を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
イ	病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線療法又は化学療法に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
ウ	地域の医療機関との連携状況について、別紙18に記載すること。	-	別紙18
ウ	地域の医療機関との連携協力体制の整備について、別紙19に記載すること	-	別紙19
エ	国拠点病院が行う地域連携クリティカルパスの整備に協力する体制を整備している。 *「地域連携クリティカルパス」とは、国拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。	A	はい (はい・いいえ)

⑦ セカンドオピニオンの提示体制				
ア	5大がんについて、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制を有すること。 *「セカンドオピニオン」とは、診断及び治療法について、主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制について、別紙20に記載すること。	A	別紙20	
ウ	セカンドオピニオンに対応している旨の情報提供を実施している場合の広報手段	-		
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい	(はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	はい	(はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	はい	(はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	http://www.hospital.yao.osaka.jp/outpatient/second-opi/	
	4.その他の方法で掲載している。	-	はい	(はい・いいえ)
		-	市政だより	
エ	セカンドオピニオンに関する詳細情報を別紙21に記載すること。	-	別紙21	
⑧ その他				
スタッフのサポート体制				
ア	各診療科を包含する居室等を設置している。	C	はい	(はい・いいえ)
イ	大阪府がん診療拠点病院の長は、当該病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
リンパ浮腫の診療				
ア	リンパ浮腫外来がある。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	担当科			
イ	リンパ浮腫の入院治療に対応している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
(2) 医療施設				
① 年間入院がん患者数				
ア	年間入院がん患者数(1年間に入院したがん患者の延べ人数をいう。)が概ね500人以上である。	A	はい	(はい・いいえ)
② 専門的ながん医療を提供するための治療機器及び治療室等の設置				
ア	放射線療法を行う場合は、放射線治療に関する機器を設置している。ただし、当該機器は、リニアックなど、体外照射を行うための機器であること。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	外来化学療法室を設置している。	C	はい	(はい・いいえ)
ウ	集中治療室を設置している。	C	はい	(はい・いいえ)
エ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場を設けている。	C	いいえ	(はい・いいえ)
オ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の状況について別紙22に記載すること。	-	別紙22	
③ 敷地内禁煙等				
ア	敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	禁煙の状況	-	敷地内を全面禁煙	(敷地内を全面禁煙、施設内のみを全面禁煙、その他)
ウ	禁煙外来を実施している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
エ	「職場における喫煙対策のためのガイドライン」(平成15年)に準拠している	-	はい	(はい・いいえ)
2 研修の実施体制				
(1)	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修に積極的に協力するとともに参加する。 ※国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)に準拠した研修である。	A	はい	(はい・いいえ)
	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修への協力及び参加状況について、別紙23に記載すること。	-	別紙23	
(2)	(1)のほか、国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修に積極的に協力するとともに参加する。	A	はい	(はい・いいえ)
	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修への協力及び参加状況について、別紙24に記載すること。	-	別紙24	
(3)	国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスに積極的に参加する。	A	はい	(はい・いいえ)
	国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況について、別紙25に記載すること。	-	別紙25	

3 情報の収集提供体制			
(1) 相談支援機能			
① 院内に相談支援機能を有する窓口(以下「相談支援窓口」)を設置している。	A	はい	(はい・いいえ)
② 当該窓口に配置しているがんに関する相談に対応できる職員数	1人以上A	3	人
③ 当該窓口は、国拠点病院と連携して患者、家族及び地域の医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
④ 相談支援窓口の相談対応状況を別紙26に記載すること。	—	別紙26	
⑤ 相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築について、別紙27に記載すること。	—	別紙27	
⑥ 自施設を受診している、または、受診していた患者さんやご家族の相談件数 ※がんに関する相談に限る。平成22年6月-7月	—	191	件
ア 対面相談		173	件
イ 電話相談		18	件
ウ fax相談		0	件
エ e-mail相談		0	件
⑦ 自施設を受診していない患者さんやご家族、一般の方等の相談件数 ※がんに関する相談に限る。平成22年6月-7月	—	19	件
ア 対面相談		4	件
イ 電話相談		15	件
ウ fax相談		0	件
エ e-mail相談		0	件
相談件数合計		210	
⑧ 各種対応窓口について別紙28に記載すること。	—	別紙28	
(2) 院内がん登録			
① 院内がん登録を実施している。	A	はい	(はい・いいえ)
② 国が定める「標準登録様式」に基づく院内がん登録を実施している。	C	いいえ	(はい・いいえ)
院内がん登録の登録項目数	—	57	項目
院内がん登録の登録実施項目について、別紙29に記載すること。	—	別紙29	
③ 院内がん登録を活用することにより、大阪府が行う地域がん登録事業にデータを提供する。	A	はい	(はい・いいえ)
(3) その他			
① 臨床研究等を行っている場合は、次に掲げる事項を実施すること。		はい	(はい・いいえ)
ア 進行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要及び過去の臨床研究の成果を広報している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
1 院内の見やすい場所に掲示している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
2 院内誌、チラシ等で広報している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
3 ホームページに掲載している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	—	http://	
4 その他の方法で掲載している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
	—	具体的に	
イ 参加中の治験について、その対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
1 院内の見やすい場所に掲示している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
2 院内誌、チラシ等で広報している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
3 ホームページに掲載している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	—	http://	
4 その他の方法で掲載している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
	—	具体的に	
ウ 院内で実施の臨床研究・治験に関して、問い合わせに対応している。	—	はい	(はい・いいえ)
窓口で対応している。	—	はい	(はい・いいえ)
電話で対応している。	—	はい	(はい・いいえ)
FAXで対応している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
e-mailで対応している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
② その他の情報提供等			
ア 患者図書館やインターネット環境など、患者が使うことができる情報ツールがある。	—	はい	(はい・いいえ)
イ 府民を対象としたがん検診・がん予防・がん診療に係る公開講座、あるいはマスメディアを通じたがん診療に関する情報提供に取り組んでいる	—	はい	(はい・いいえ)
ウ 患者・府民向け講演会を定期的に開催している。	—	はい	(はい・いいえ)
エ 患者・府民向け講演会の実施情報について、別紙27に記載すること。	—	別紙30	
③ 府民へのメッセージ			
ア HP公開用の府民へのメッセージを別紙31に記載すること。	—	別紙31	

保有する放射線診療機器等の一覧

病院名 八尾市立病院

平成22年9月1日現在

コンピュータ断層撮影装置(CT)

	メーカー	機種名	導入年月日	検出器の列数
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1	8列
1	東芝メディカル	Aquilion16	2004. 3. 31	16列
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

磁気共鳴断層撮影装置(MRI)

	メーカー	機種名	導入年月日	磁場強度(テスラ数)
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1	1.5T
1	フィリップス	Intera1.5TNOVA	2004. 3. 31	1.5T
2	フィリップス	Achieva 1.5SE	2010.02.12	1.5T
3				
4				
5				
6				

核医学検査に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	PET装置	○社	ABC-12	2005. 10. 1	
1	ガンマカメラ	日立メディコ	Forte	2004. 3. 31	
2					
3					
4					
5					

血管造影連続撮影検査(または IVR専用)に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	DSA	○社	ABC-12	2005. 10. 1	
1	血管造影連続撮影装置	東芝メディカル	AREX-BP830A	2004. 3. 31	
2					
3					
4					
5					

外部照射装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	X線出力エネルギー	幅1cm以下の多段コリメータの有無
(例)	リニアック	○社	ABC-12	2005. 10. 1	6MV、10MV	有
1	リニアック	バリアンメディカル	MHCL-15DP	2004. 3. 31	4MV、10MV	有
2						
3						

小線源治療装置

	メーカー	機種名	導入年月日	使用線源
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1	イリジウム-192
1				
2				
3				

放射線治療計画システム

X線シミュレータの有無

	メーカー	機種名	導入年月日		
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1		
1	東芝メディカル	LX-40	2004. 3. 31		
2					
3					

放射線治療計画専用CTの有無

	メーカー	機種名	導入年月日		
(例)	○社	ABC-12	2002.10.1		
1	東芝メディカル	TSX-101A/4E	2004. 3. 31		
2					
3					

三次元放射線治療計画ワークステーションの有無

	メーカー	機種名	導入年月日		
(例)	○社	ABC-12	2006.10.1		
1	テラリコン	AqueriousNET	2004. 3. 31		
2					
3					

バーチャルスライド装置

	メーカー	機種名	導入年月日
(例)	○社	ABC-12	2007.3.1
1			
2			
3			

高度医療への対応状況（がんに関するもの）

	高度医療技術名	第2項／ 第3項 (※)	承認年月日	実施件数 (平成22年 4月～8月)	担当診療科名
1	該当なし				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

※「厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準」(平成20年厚生労働省告示第129号)第2項各号に掲げる先進医療、同告示第3項各号に掲げる先進医療の区別を記入。

集学的治療の提供にあたって放射線療法を 他の医療機関との連携によって対応できる体制

平成21年1月から12月について記載(延べ数ではなく実数を記載すること。)

病院名

	放射線療法について連携する医療機関名	所在地	紹介患者数
(例)	〇〇〇病院	〇〇市〇〇町〇—〇—〇	35人
1	院内で実施可能なため該当なし		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において放射線療法を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

診療機能

期間 平成22年9月1日時点

病院名

八尾市立病院

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の当該疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載内容				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可	
(例) 肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器外科	2	はい	いいえ	はい	http://*****
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	腫瘍内科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	実施可	あり						
集学的治療		実施可		上記の科							
肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	なし	外科	0	いいえ	いいえ	いいえ	
			胸腔鏡下手術	未実施	なし						
		化学療法		実施可	あり	内科(化学療法科)	2	いいえ	いいえ	はい	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
			定位放射線治療	未実施	なし						
集学的治療		実施可		外科 内科(化学療法科) 放射線科							
胃がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	http://www.hospital.yao.saka.jp/
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	内科(消化器内科)	9	はい	いいえ	はい	http://www.hospital.yao.saka.jp/
			粘膜下層剥離術(ESD)	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	外科 内科(化学療法)	4	はい	はい	はい	http://www.hospital.yao.saka.jp/
集学的治療		実施可		外科 内科(化学療法科) 放射線科							
大腸がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	http://www.hospital.yao.saka.jp/
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	内科(消化器内科)	9	はい	いいえ	はい	http://www.hospital.yao.saka.jp/
			化学療法		実施可						
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
小線源治療	未実施		なし								
集学的治療		実施可		外科 内科(化学療法科) 放射線科							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の当該疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載内容			
								治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可
肝がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	http://www.hospital.yao.osaka.jp/
		化学療法		実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	http://www.hospital.yao.osaka.jp/
		穿刺療法	ラジオ波焼灼療法	実施可	あり	内科(消化器内科)	9	はい	いいえ	はい	http://www.hospital.yao.osaka.jp/
			マイクロ波凝固法	未実施	なし						
			エタノール局所注入療法	実施可	あり						
		肝動脈塞栓術(TAE)		実施可	なし	内科(消化器内科)	9	いいえ	いいえ	はい	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
定位放射線治療	未実施		なし								
集学的治療		実施可		外科 放射線科							
乳がん	診療可	手術	乳房切除	実施可	あり	外科(乳腺外科)	2	いいえ	いいえ	はい	
			乳房温存	実施可	あり						
			乳房再建	実施可	あり	形成外科	1	いいえ	いいえ	はい	
		化学療法		実施可	あり	外科(乳腺外科) 内科(化学療法科)	4	いいえ	いいえ	はい	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	はい	
			小線源治療	未実施	なし						
		冷凍凝固摘出術		未実施	なし						
集学的治療		実施可		外科(乳腺外科) 内科(化学療法科) 放射線科							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
脳腫瘍	診療不可	手術								
		化学療法								
		放射線療法	体外照射							
			定位放射線治療							
			強度変調放射線治療 (IMRT)							
			小線源治療							
		集学的治療								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例: 神経膠腫(びまん性星細胞腫、退形成性星細胞腫、膠芽腫など)、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、胚細胞腫、悪性リンパ腫、頭蓋咽頭腫など									
脊髄腫瘍	診療不可	手術								
		化学療法								
		放射線療法	体外照射							
			定位放射線治療							
			強度変調放射線治療 (IMRT)							
			小線源治療							
		集学的治療								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例: 脊髄腫瘍など									
眼、眼窩腫瘍	診療不可	手術								
		冷凍凝固術								
		光凝固術								
		化学療法								
		眼動注								
		放射線療法	体外照射							
			強度変調放射線治療 (IMRT)							
			小線源治療							
集学的治療										
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例: 眼瞼腫瘍、結膜腫瘍、網膜芽細胞腫、ぶどう膜悪性黒色腫、涙腺腫瘍など									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
頭頸部がん	診療可	手術	摘除術、再建術	実施可	あり	耳鼻咽喉科	2	いいえ	いいえ	はい	
		化学療法		実施可	あり	歯科口腔外科 内科(化学療法)	2	いいえ	いいえ	はい	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療		実施可		内科(化学療法科)					
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例: 上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、喉頭がん、舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上顎がん、下顎がん、鼻腔がんなど									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上顎がん、下顎がん、咽頭がん									
甲状腺がん	診療不可	手術									
		化学療法									
		放射線療法	体外照射								
			強度変調放射線治療(IMRT)								
			小線源治療								
		放射線療法		放射性ヨード内服治療							
集学的治療											
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例: 甲状腺がん									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください											
食道がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	http://www.hospital.yao.o.saka.jp/
			胸腔鏡下手術	実施可	なし						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	未実施	なし						
			粘膜下層剥離術(ESD)	未実施	なし						
		化学療法		実施可	あり	外科 内科(化学療法)	4	はい	はい	はい	http://www.hospital.yao.o.saka.jp/
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施	なし						
光線力学療法		未実施	なし								
集学的治療		実施可		外科 内科(化学療法科) 放射線科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例: 頸部食道がん、胸部食道がん、食道胃接合部がん(腹部食道がん)など									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		食道がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
縦隔腫瘍	診療不可	手術	開胸手術								
		化学療法									
		放射線療法	体外照射								
		集学的治療									
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 胸腺腫など							
中皮腫	診療不可	手術									
		化学療法									
		放射線療法	体外照射								
		集学的治療									
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 中皮腫							
膵がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	
		化学療法		実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		外科 放射線科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 膵がん 膵がん、膵体部がん							
胆道がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	http://www.hospital.yao.o.saka.jp/
		化学療法		実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	http://www.hospital.yao.o.saka.jp/
		放射線療法	体外照射 小線源治療	実施可 未実施	あり なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		外科 放射線科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん 胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績											
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況					
								治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です		
十二指腸・小腸がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	http://www.hospital.yao.o.saka.jp/		
		化学療法		実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	http://www.hospital.yao.o.saka.jp/		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ			
		集学的治療		未実施		外科 放射線科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:乳頭部がん、十二指腸がん、小腸がんなど									
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		乳頭部がん、十二指腸がん									
腎がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	4	はい	いいえ	はい	http://www.hospital.yao.o.saka.jp/		
			腹腔鏡下手術	実施可	なし								
			腹腔鏡下小切開手術	実施可	あり								
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	4	はい	いいえ	はい	http://www.hospital.yao.o.saka.jp/		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	はい			
		インターフェロン療法		実施可	あり	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	はい			
		集学的治療		実施可		泌尿器科 放射線科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:腎がん											
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		腎がん											
膀胱がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	4	はい	いいえ	はい	http://www.hospital.yao.o.saka.jp/		
			経尿道的手術	実施可	あり								
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	はい			
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	はい			
		膀胱内注入療法		実施可	あり	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	はい			
		集学的治療		実施可		泌尿器科 放射線科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:膀胱がん									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		膀胱がん											

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績										
		治療内容		現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
								治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)		
尿路がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	はい		
			腹腔鏡下手術	実施可	あり							
			経尿道的手術	実施可	あり							
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	はい		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	はい		
		腎盂・尿管内注入療法	実施可	なし	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	はい			
		集学的治療	実施可		泌尿器科 放射線科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:腎盂がん、尿管がん、尿道がんなど										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		腎盂がん、尿管がん										
副腎腫瘍	診療可	手術	開腹手術	未実施	なし							
			化学療法	実施可	なし	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	はい		
			放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	はい	
		集学的治療	実施可		泌尿器科 放射線科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:褐色細胞腫、副腎皮質がんなど								
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		副腎皮質がん(開腹手術は不可)										
前立腺がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	4	はい	いいえ	はい	http://www.hospital.yao.saka.jp/	
			腹腔鏡下手術	未実施	なし							
			腹腔鏡下小切開手術	実施可	なし							
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	4	はい	いいえ	はい	http://www.hospital.yao.saka.jp/	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	2	はい	いいえ	はい	http://www.hospital.yao.saka.jp/	
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施	なし		4	いいえ	いいえ	はい		
		小線源治療	未実施	なし		4	いいえ	いいえ	はい			
集学的治療	実施可		泌尿器科 放射線科									
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:前立腺がん										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		前立腺がん										

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
精巣がん	診療可	手術		実施可	あり	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	はい	
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	はい	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	はい	
		集学的治療		実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 精巣がん 精巣がん							
その他の男性生殖器がん	診療可	手術		実施可	あり	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	はい	
		化学療法		実施可	なし	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	はい	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	はい	
		集学的治療		実施可		泌尿器科 放射線科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 陰茎がん 陰茎がん							
子宮がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	2	はい	いいえ	はい	http://www.hospital.yao.o.saka.jp/
			腹腔鏡下手術(腔式)	未実施	なし						
		化学療法		実施可	あり	産婦人科 内科(化学療法科)	2	はい	いいえ	はい	http://www.hospital.yao.o.saka.jp/
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	はい	
			小線源治療	未実施	なし						
		光線力学療法		未実施	なし						
集学的治療 昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		実施可 産婦人科 内科(化学療法科) 放射線科 例: 子宮頸がん、子宮体がん 子宮頸がん、子宮体がん									
卵巣がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	2	はい	いいえ	はい	http://www.hospital.yao.o.saka.jp/
			化学療法	実施可	なし	産婦人科 内科(化学療法科)	2	はい	いいえ	はい	http://www.hospital.yao.o.saka.jp/
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	はい	
		集学的治療		実施可		産婦人科 内科(化学療法科) 放射線科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 卵巣がん 卵巣がん							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	貴院における各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
その他の女性生殖器がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	なし	産婦人科	4	いいえ	いいえ	はい	
		化学療法		実施可	なし	産婦人科	4	いいえ	いいえ	はい	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	はい	
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療		未実施							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:子宮肉腫、絨毛がん、卵管がん、膣がん、外陰がんなど									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		子宮肉腫									
皮膚腫瘍	診療可	手術		実施可	なし	皮膚科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		未実施							
		放射線療法	体外照射	未実施							
		インターフェロン療法		未実施							
		凍結療法		未実施							
		集学的治療		未実施							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:悪性黒色腫、乳房外バジレット、基底細胞がん、有棘細胞がんなど									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください											
悪性骨軟部腫瘍	診療不可	手術	切・離断術	未実施							
			患肢温存術	未実施							
			再建術	未実施							
			骨移植術	未実施							
		化学療法		未実施							
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	はい	
			小線源治療	未実施							
集学的治療		未実施									
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、血管肉腫、線維肉腫など									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		骨肉腫									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です	
血液腫瘍	診療可	化学療法	実施可	あり	内科(血液内科) 内科(化学療法)	4	はい	いいえ	はい	http://www.hospital.yao.o.saka.jp/	
		移植	自家末梢血幹細胞移植	実施可	なし	内科(血液内科) 内科(化学療法科)	4	いいえ	いいえ	はい	
			血縁者間同種造血幹細胞移植	未実施	なし						
			非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移	未実施	なし						
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	はい	
			全身照射	未実施	なし						
		集学的治療	未実施								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など 急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫									
小児脳腫瘍	診療不可	手術									
		化学療法									
		放射線療法	体外照射								
			定位放射線治療								
			強度変調放射線治療(IMRT)								
			小線源治療								
		集学的治療									
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫など									
小児網膜芽細胞腫	診療不可	手術									
		化学療法									
		眼動注									
		放射線療法	体外照射								
			小線源治療								
		冷凍凝固術									
		光凝固術									
集学的治療											
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:小児網膜芽細胞腫									
小児固形											

腫瘍	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
小児悪性骨軟部腫瘍	診療不可	手術								
		化学療法								
		放射線療法	体外照射							
			小線源治療							
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:横紋筋肉腫、線維肉腫、骨腫瘍、ユーイング肉腫など							
その他の小児固形腫瘍	診療不可	手術								
		化学療法								
		放射線療法	体外照射							
			小線源治療							
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:神経芽細胞腫、Wilms腫瘍、肝芽腫など							
小児血液腫瘍	診療不可	化学療法								
		移植	自家末梢血幹細胞移植							
			血縁者間同種造血幹細胞移植							
			非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植							
		放射線療法	体外照射							
			小線源治療							
集学的治療										
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など									
原発不明がん	診療可	手術	未実施	なし						
		化学療法	実施可	あり	内科(化学療法科)	2	いいえ	いいえ	はい	
		放射線療法	未実施	なし						
		集学的治療	未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:原発不明がん							
			原発不明がん							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
性腺外胚細胞腫	診療可	手術	未実施							
		化学療法	実施可	なし	内科(化学療法科)	2	いいえ	いいえ	はい	
		放射線療法	未実施							
		集学的治療	未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:性腺外胚細胞腫							
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor: 消化管間質腫瘍)	診療可	手術	未実施	なし						
		化学療法	実施可	なし	内科(化学療法科)	2	いいえ	いいえ	はい	
		放射線療法	未実施	なし						
		集学的治療	未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:GIST							
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								

院内クリティカルパス(がんに関するもの)

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名	八尾市立病院
パス整備数	82
パス適応数	226

	がんの種類	治療内容	院内クリティカルパス名	新規の適 応患者数	最終更新日
(例)	肺がん	手術療法	開胸肺葉切除術パス	8	2009/10/1
(例)	肺がん	化学療法	カルボプラチン・パクリタキセル併用療法パス	1	2008/5/1
(例)	大腸がん	手術療法	結腸切除術パス	6	2010/1/20
1	胃がん	その他	ESDパス	5	更新日不明
2	胃がん	化学療法	CPT-11+CDDP	0	更新日不明
3	胃がん	化学療法	TS-1併用カンプト80	0	更新日不明
4	胃がん	化学療法	TS-1併用ランダ60	4	更新日不明
5	胃がん	手術療法	胃切除術パス	5	更新日不明
6	胃がん	手術療法	胃全摘術パス	1	更新日不明
7	胃がん	手術療法	噴門部切除術	1	更新日不明
8	胃がん	手術療法	胃腹腔鏡下部分切除術パス	7	更新日不明
9	肝がん	その他	ラジオ波焼灼術パス	8	更新日不明
10	肝がん	その他	肝動脈塞栓療(TACE)パス	8	更新日不明
11	肝がん	その他	PEITパス	1	更新日不明
12	肝がん	化学療法	アイエーコールのみ	1	更新日不明
13	肝がん	手術療法	肝部分切除術パス	4	更新日不明
14	血液腫瘍	化学療法	ACES療法	1	更新日不明
15	血液腫瘍	化学療法	ALL・NHL維持療法	1	更新日不明
16	血液腫瘍	化学療法	Ara-C少量療法+ACR	2	更新日不明
17	血液腫瘍	化学療法	CHASE	1	更新日不明
18	血液腫瘍	化学療法	CHOP	6	更新日不明
19	血液腫瘍	化学療法	CHOP-E	1	更新日不明
20	血液腫瘍	化学療法	CPT-11+M+D療法	1	更新日不明
21	血液腫瘍	化学療法	DHAP	1	更新日不明
22	血液腫瘍	化学療法	DMVM	0	更新日不明
23	血液腫瘍	化学療法	DNR+Ara-C(キロサイド5日連投)	1	更新日不明

24	血液腫瘍	化学療法	DNR+Ara-C(キロサイド7日連投)	1	更新日不明
25	血液腫瘍	化学療法	EPOCH	1	更新日不明
26	血液腫瘍	化学療法	ESHAP	0	更新日不明
27	血液腫瘍	化学療法	FND	1	更新日不明
28	血液腫瘍	化学療法	HD-MTX	1	更新日不明
29	血液腫瘍	化学療法	MTX+Ara-C+DEXA髄注	2	更新日不明
30	血液腫瘍	化学療法	R-CHOP(CHOPday2)	2	更新日不明
31	血液腫瘍	化学療法	THP-COP	3	更新日不明
32	血液腫瘍	化学療法	フルダラビン療法	1	更新日不明
33	血液腫瘍	化学療法	リツキサン	4	更新日不明
34	血液腫瘍	化学療法	リツキサン・抗ヒスタミン剤	2	更新日不明
35	子宮がん	手術療法	腹式単純至急全摘出術(付属器摘出術)	26	更新日不明
36	食道がん	化学療法	DTX+CDGP	0	更新日不明
37	食道がん	化学療法	FP-low	1	更新日不明
38	腎がん	手術療法	腎臓摘出術パス	4	更新日不明
39	前立腺がん	化学療法	T(1投2休)	1	更新日不明
40	前立腺がん	化学療法	T(3投1休)	2	更新日不明
41	前立腺がん	化学療法	T(週1回)	2	更新日不明
42	前立腺がん	手術療法	前立腺摘出術パス	7	更新日不明
43	大腸がん	化学療法	CPT-11 100	1	更新日不明
44	大腸がん	化学療法	CPT-11 150	2	更新日不明
45	大腸がん	化学療法	FOLFIRI外来(2400)	0	更新日不明
46	大腸がん	化学療法	FOLFOX6外来(2400)	0	更新日不明
47	大腸がん	化学療法	XELOX	2	更新日不明
48	大腸がん	化学療法	アービタックスCPT-11(A法)	1	更新日不明
49	大腸がん	化学療法	アービタックス単剤	3	更新日不明
50	大腸がん	化学療法	アバスチン+FOLFIRI	0	更新日不明
51	大腸がん	化学療法	アバスチン+mFOLFOX6	0	更新日不明
52	大腸がん	化学療法	アバスチン+XELOX	2	更新日不明
53	大腸がん	化学療法	イリノテカン・シスプラチン療法	0	更新日不明
54	大腸がん	手術療法	結腸切除術	1	更新日不明
55	大腸がん	手術療法	低位前方切除手術パス	3	更新日不明

56	大腸がん	手術療法	直腸切除術パス	4	更新日不明
57	頭頸部がん	化学療法	【アルコールフリー】三者併用(CF+TXT(80mg/body))	2	更新日不明
58	頭頸部がん	化学療法	三者併用(CF+TXT(80mg/body))	1	更新日不明
59	乳がん	化学療法	【アルコールフリー】3週1ドセタキセル70	1	更新日不明
60	乳がん	化学療法	1週1パクリタキセル80	5	更新日不明
61	乳がん	化学療法	2週1ドセタキセル50	2	更新日不明
62	乳がん	化学療法	3週1ドセタキセル70	3	更新日不明
63	乳がん	化学療法	3週1ドセタキセル75	4	更新日不明
64	乳がん	化学療法	FEC 75	2	更新日不明
65	乳がん	化学療法	FEC 100	5	更新日不明
66	乳がん	化学療法	ゾメタ	2	更新日不明
67	乳がん	化学療法	ゾメタ+1週1パクリタキセル	1	更新日不明
68	乳がん	化学療法	ハーセプチン 術後補助	4	更新日不明
69	乳がん	化学療法	ハーセプチン+ゾメタ	0	更新日不明
70	乳がん	化学療法	ハーセプチン+週1パクリタキセル	0	更新日不明
71	乳がん	化学療法	ハーセプチン6mg+ドセタキセル75	0	更新日不明
72	乳がん	化学療法	ハーセプチン進行再発	2	更新日不明
73	乳がん	化学療法	乳癌 TC 75 600	2	更新日不明
74	乳がん	手術療法	乳がん手術パス	30	更新日不明
75	肺がん	化学療法	【アルコールフリー】ドセタキセル・カルボプラチン	2	更新日不明
76	肺がん	化学療法	CBDCA+GEM	1	更新日不明
77	卵巣がん	化学療法	婦人科 TC療法	2	更新日不明
78	膀胱がん	化学療法	G(1投1休)	2	更新日不明
79	膀胱がん	化学療法	G(2投1休)	2	更新日不明
80	膀胱がん	化学療法	GC	3	更新日不明
81	膀胱がん	手術療法	膀胱全摘出術	1	更新日不明
82	膵がん	化学療法	進行膵癌GEM1000	7	更新日不明
83					
84					
85					
86					
87					

88					
89					
90					
91					
92					
93					
94					
95					
96					
97					
98					
99					
100					
101					
102					
103					
104					
105					
106					
107					
108					
109					
110					
111					
112					

化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会

期間 平成22年 4月 1日 ～ 8月31日

病院名 八尾市立病院

名称	構成メンバー(◎:委員長)	備考
(例)レジメン管理委員会	◎副院長、薬物療法部長、薬剤部長、通院治療センター長、副看護部長、腫瘍内科医長	
化学療法運営委員会	乳腺外科部長、中央検査部長、消化器内科副医長、泌尿器科医長、産婦人科医長、耳鼻咽喉科医長、副看護部長、看護師長2名、看護師、薬剤師、事務1名	1回

開催実績(開催日)	委員会名称	承認レジメン数
例:4月10日	レジメン管理委員会	5
4月13日	化学療法運営委員会	10
5月18日	化学療法運営委員会	5

外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する 医師、薬剤師、看護師の専門性

期間 平成22年9月1日時点

病院名 八尾市立病院

職種	診療科 (医師のみ記載)	常勤 /非常勤	専従/専任 /兼任	化学療法 の経験 年数(年)	専門医等資格 ※1人につき、関連するもの3つまで。
(例) 医師	腫瘍内科	常勤	専従	20	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1 医師	内科(化学療法科)	常勤	兼任	27	日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 がん治療認定医機構認定医 日本血液学会専門医
2 医師	内科(化学療法科)	常勤	兼任	6	日本内科学会認定医
3 看護師		常勤	専従	15	
4 看護師		常勤	専従	10	
5 薬剤師		常勤	兼任	28	
6 薬剤師		常勤	兼任	16	
7 看護師		常勤	専従	31	
8 看護師		常勤	専従	28	
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

- 研修医は除くこと。
- 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。（「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知）の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照）。
- 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

病院名

八尾市立病院

	職種	診療科	常勤 /非常勤	専従/専 任/兼任	対象領域の 経験年数	専門医等資格
(例)	医師	放射線治療科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	医師	放射線科	非常勤	専従	16年	放射線科専門医、放射線腫瘍学会認定医、 がん治療認定医
2	医師	放射線科	非常勤	専従	5年	放射線科専門医、放射線腫瘍学会認定医、 がん治療認定医
3	医師					
4	医師					
5	医師					
6	医師					
7	医師					
8	医師					
9	医師					
10	医師					
11	医師					
12	医師					
13	医師					
14	医師					
15	医師					
16	医師					
17	医師					
18	医師					
19	医師					
20	医師					

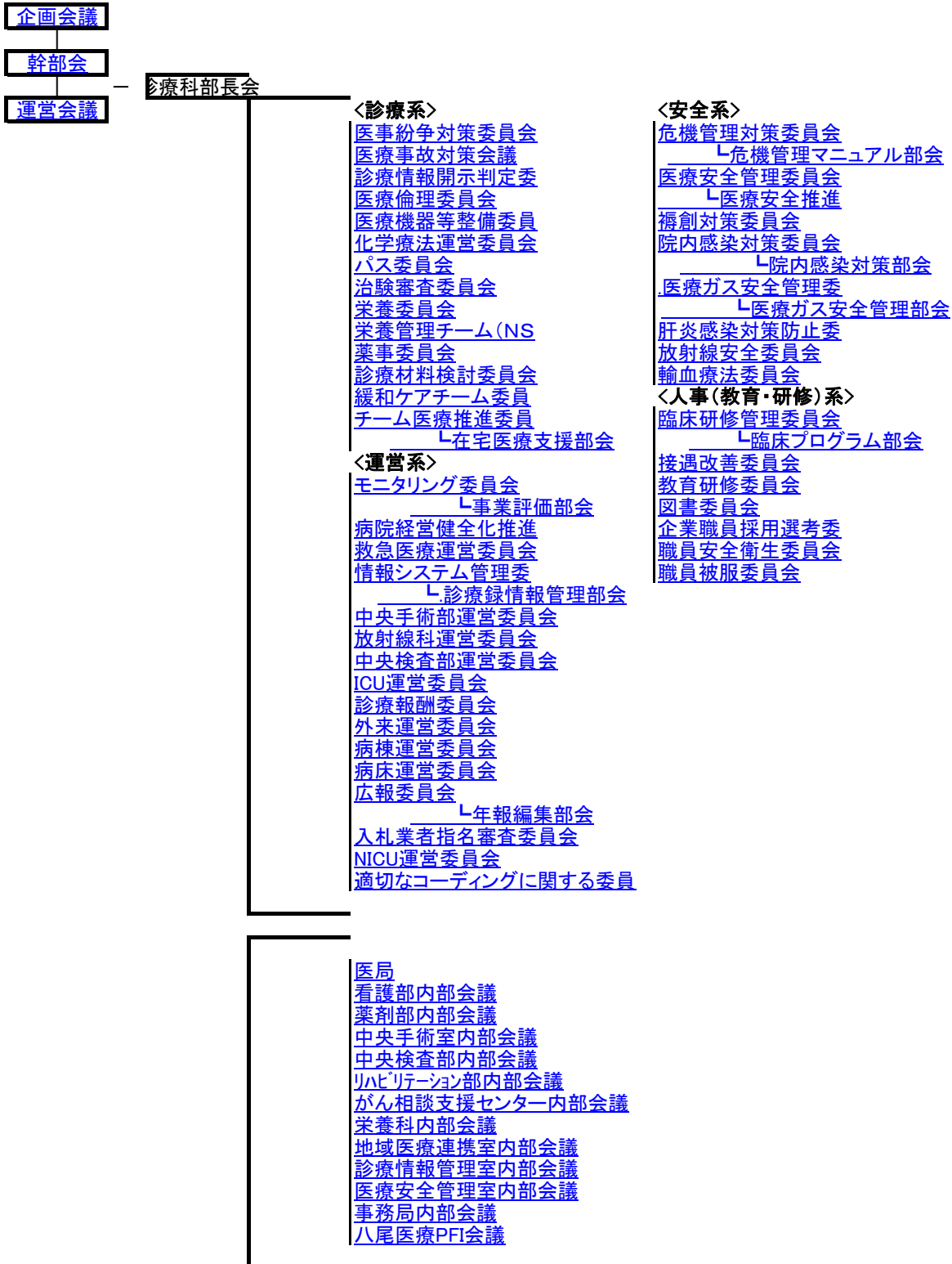
専任: 当該療法の実施を専ら担当していることをいう。この場合において「専ら担当している」とは、担当者となっていればよいものとし、その他診療を兼任していても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事している必要があるものとする。

専従: 当該療法の実施日において、当該療法に専ら従事していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、その就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していることをいう。

緩和ケアチームの組織・体制

病院名 八尾市立病院

病院内の緩和ケアチームの位置づけが分かる組織図

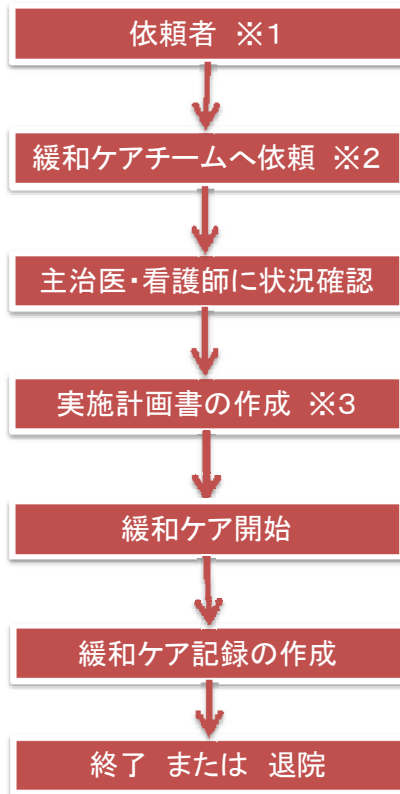


緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順

期間 平成22年9月1日時点

病院名 八尾市立病院

緩和ケアチームへの入院患者の紹介の手順について必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。



※1
依頼者
患者・家族からの希望、医師、看護師、その他の医療従事者の判断により主治医は依頼

※2
依頼方法
・電子カルテの他科受診の依頼を予約枠に入力
・依頼は、毎週月・水・金曜日受ける
・依頼書は主治医により作成

※3
実施計画書は情報収集後に作成し、作成者が患者の同意を得る

外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制

期間 平成22年9月1日時点

病院名

八尾市立病院

緩和ケア外来の診療日時等がわかる外来担当表を添付してください。

八尾市立病院		外来診療予定表										平成22年 10月 1日現在		
◆初診・再診受付…午前 8時45分～午前11時30分(平日のみ)												【注意】		
◆予約済みの方…午前 8時45分～午後 2時30分(平日のみ)												土・日・祝日は休診です。但し、内科・外科は常時救急医療を行っています。		
◆紹介状をお持ちの方…午前 8時45分～午前11時30分(平日のみ)												また、小児救急医療の受付は火曜日の午後9時～翌朝午前8時まで、土曜日は午前9時～翌朝午前8時までで行っています。		
※担当医は出張等により変更になる場合があります。												※月曜日～土曜日が祝祭日の場合は、午後7時～翌朝午前8時までで行っています。		
診療科/診療	午前		午後		午前		午後		午前		午後		備考	
	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診		
外科	予約診	森本 (乳腺)	—	野村 (乳腺)	野村 (乳腺)	交代 (乳腺)	(手術)	野村 (乳腺)	野村 (乳腺)	野村 (乳腺)	(手術)	【専門】	森本(肝・胆・膵)	
	初診	佐々木 (肝・胆・膵)	佐々木 (肝・胆・膵)	初診医 (交替制)	(手術)	森田 (初診)	森田 (大腸)	初診医 (交替制)	(手術)	福島 (食道・胃)	福島 (食道・胃)	野村(乳腺)	野村(乳腺)	
	再診	福島 (肝・胆・膵)	森田 (大腸)	—	(手術)	—	福島 (食道・胃)	(ストーマ)	(ストーマ)	松山 (乳腺)	福本 (乳腺)	森本(肝・胆・膵)	森本(乳腺)	
	再診	—	—	森本 (乳腺)	森本 (乳腺)	横山 (肝・胆・膵)	横山 (肝・胆・膵)	森本 (乳腺)	森本 (乳腺)	徳岡 (乳腺)	徳岡 (乳腺)	森田(肝・胆・膵)	森田(肝・胆・膵)	
	6診	—	—	(手術)	(手術)	(手術)	—	(手術)	(手術)	—	松山 (乳腺)	松山(乳腺)	徳岡(大腸)	
形成外科	初診	三宅 (手術)	三宅 (手術)	三宅 (手術)	三宅 (手術)	—	日原 (手術)	—	(手術)	—	松島(予約制)	松島(予約制)	皮膚科は初診なし	
皮膚科	初診	高木	高木	(予約制)	(予約制)	高木(初診)	高木(再診)	(予約制)	(手術)	—	高木	高木	火・木は初診なし	
	5診	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
整形外科	初診	三田/岡本	—	田川	—	馬上	【午後専門】	交代	—	武	—	器具外来	※午後専門外来は13:00～15:00	
	再診	—	—	馬上	【午後専門】	三田	スボーツ外来	—	—	藤内	—	—	—	
リハビリテーション科	1診	—	—	—	—	敷内	—	—	—	—	—	—	—	
脳神経外科	初診	青島	—	—	—	馬場	—	—	—	中村	—	—	目・水・金の外来のみ	
ペインクリニック	7診	—	—	—	—	小多田	小多田	—	—	—	—	—	—	
歯科	初診	山口	—	松岡	—	山口	—	松岡	—	—	—	—	ペインクリニック内で対応	
歯科口腔外科	初診	山口	—	松岡	—	山口	—	松岡	—	—	—	—	—	
	再診	松岡	—	山口	—	松岡	—	山口	—	—	—	—	—	
眼科	初診	牧野	—	代診医	—	松本	—	松本	—	—	—	—	—	
	再診	松本	—	代診医	—	牧野	—	—	—	—	—	—	—	
耳鼻咽喉科	初診	森島	—	藤村	—	代診医	—	日尾	—	代診医	—	—	初診は紹介状を有参の方のみ	
	再診1	藤村	—	森島	—	—	—	藤村	—	森島	—	—	再診は原則予約制	
	再診2	日尾	—	伊藤	—	—	—	—	—	—	—	—	(水曜)別紙シフト表有り	
内科	一般内科	初診	井上	—	藤部	—	井上	—	井上	—	井上	—	—	井上(脳神経)
		初診	井上	—	藤部	—	井上	—	井上	—	井上	—	—	井上(脳神経)
		初診	井上	—	藤部	—	井上	—	井上	—	井上	—	—	井上(脳神経)
		初診	井上	—	藤部	—	井上	—	井上	—	井上	—	—	井上(脳神経)
	消化器内科	初再診	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	—	火・木 紹介初診のみ
		再診	*藤田	*藤田	*藤田	—	*藤田	*藤田	*藤田	—	*藤田	*藤田	—	※ 予約制
	循環器科	初診	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	—	—
		初診	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	—	—
	血液内科	初診	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	—	—
		初診	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	—	—
化学療法科	初再診	—	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	—	—	
	再診	—	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	—	—	
神経内科	初再診	—	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	—	—	
	再診	—	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	—	—	
泌尿器科	初診	池本 (検査・手術)	—	池本 (検査・手術)	—	池本 (手術)	—	池本 (検査)	—	池本 (検査)	—	—	—	
	再診	上水流	上水流	池本	—	池本	—	池本	—	池本	—	—	—	
小児科	初診	上田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	—	—	
	初診	—	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	藤田	—	—	—	
	初診	*藤田	*藤田	—	—	*藤田	—	—	—	—	—	—	—	
	初診	*藤田	*藤田	—	—	*藤田	—	—	—	—	—	—	—	
産婦人科	初診	水田	—	水田	—	水田	—	水田	—	水田	—	—	—	
	初診	水田	—	水田	—	水田	—	水田	—	水田	—	—	—	
放射線科	初診	青造	—	青造	—	青造	—	青造	—	青造	—	—	—	
	初診	青造	—	青造	—	青造	—	青造	—	青造	—	—	—	

緩和ケアチームに対する新規診療症例

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名 八尾市立病院

総数 9

注1) 診療回数は、緩和ケアチームによる診療が診療録に記載されたもののみとすること。

注2) 緩和ケア病棟に入院している期間の診療は除くこと。

注3) 記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

外来 / 入院	主病名	主診療科	診療 依頼日	依頼者の 所属 自施設/ 他施設/ その他	診療依頼者	診療依頼内容	診療 開始日	診療 終了日	診療 回数	診療内容
(例) 外来	肺がん	呼吸器内科	6月1日	他施設	医師	疼痛、倦怠感、抑うつ、家族のサポート	6月5日	継続中	8	疼痛コントロール、カウンセリング
1 入院	前立腺癌	泌尿器科	6月2日	自施設	医師	疼痛・抑うつ・退院調整	6月2日	8月4日	10	疼痛コントロール、カウンセリング
2 入院	肝細胞癌	消化器内科	6月2日	自施設	医師	呼吸困難	6月2日	6月4日	3	疼痛コントロール、カウンセリング
3 入院	胆のう癌	外科	6月2日	自施設	医師	疼痛・抑うつ・在宅支援	6月2日	6月11日	6	疼痛コントロール、カウンセリング
4 入院	悪性リンパ腫	血液内科	6月9日	自施設	医師	疼痛・家族ケア	6月9日	6月14日	3	疼痛コントロール、カウンセリング
5 入院	肝癌	消化器内科	6月24日	自施設	医師	疼痛・在宅支援	6月24日	7月16日	9	疼痛コントロール、カウンセリング
6 入院	肺がん・転移 性肝癌	消化器内科	6月28日	自施設	医師	家族ケア	6月28日	6月30日	1	疼痛コントロール、カウンセリング
7 入院	腫瘍・肺転移	婦人科	7月8日	自施設	医師	疼痛・呼吸困難・家族ケア	7月8日	7月30日	5	疼痛コントロール、カウンセリング
8 入院	前立腺癌	泌尿器科	7月13日	自施設	医師	疼痛	7月13日	7月21日	2	疼痛コントロール
9 入院	前立腺癌	泌尿器科	7月20日	自施設	医師	疼痛・在宅支援	7月20日	8月27日	7	疼痛コントロール、カウンセリング
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										

緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績

(別紙13)

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名 八尾市立病院

2ヶ月分の総数 7

※記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

	開催日	時間 (分)	検討 症例数	参加人 数	主診療科名	主診療科以外の 参加者の診療科名	参加者の職名・職種
(例)	7月3日	60	3	20	乳腺外科	腫瘍内科	乳腺外科部長、乳腺外科医、腫瘍内科医、放射線治療医、放射線診断医、内視鏡医、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー
1	6月7日	120	6	14	泌尿器科	麻酔科	泌尿器科部長、麻酔科医長、外科医長、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、臨床心理士
2	6月14日	60	5	5	泌尿器科	麻酔科	泌尿器科部長、麻酔科医長、看護師、ソーシャルワーカー
3	6月21日	60	5	5	泌尿器科	麻酔科	泌尿器科部長、麻酔科医長、看護師、ソーシャルワーカー
4	6月28日	60	3	5	泌尿器科	麻酔科	泌尿器科部長、麻酔科医長、看護師、ソーシャルワーカー
5	7月5日	60	2	11	内科	麻酔科	麻酔科医長、外科医長、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、臨床心理士、事務員
6	7月12日	60	2	4	内科	麻酔科	麻酔科医長、外科医長、看護師
7	7月26日	60	5	4	泌尿器科	麻酔科	泌尿器科部長、麻酔科医長、看護師
8							
9							

10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							

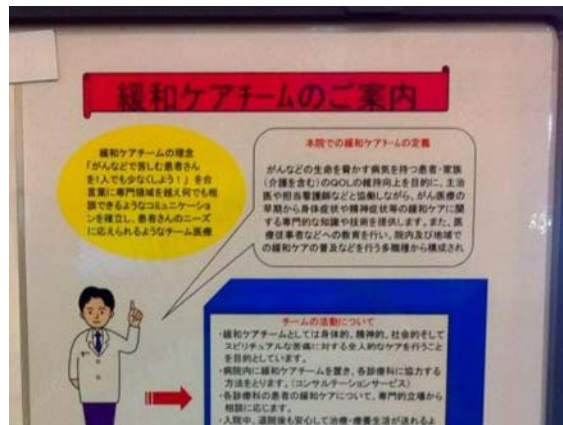
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							

緩和ケアに関する広報

病院名 八尾市立病院

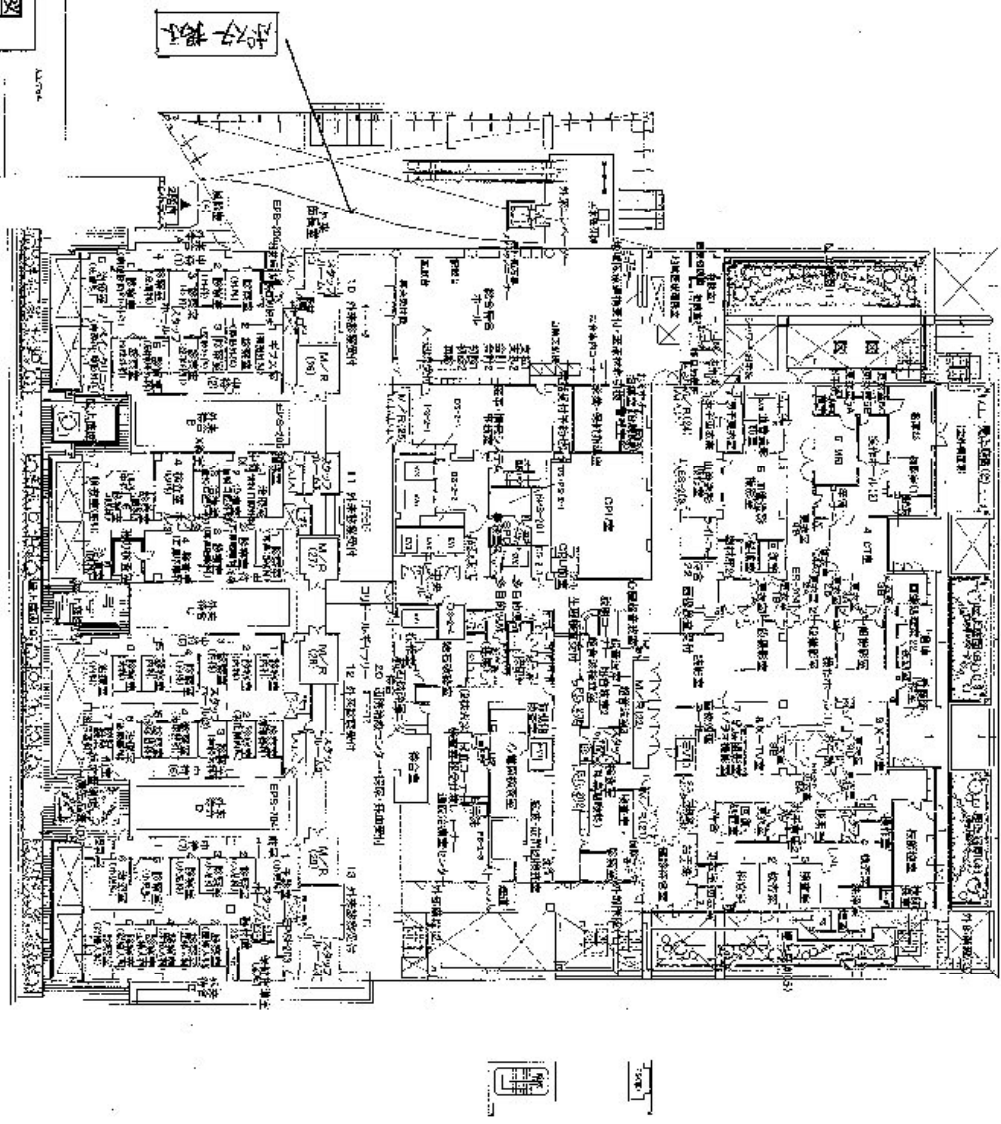
緩和ケアチームによる診療が受けられることについての院内掲示等(写真および掲示場所の院内図等を添付することにより具体的な掲示状況を示すこと)

緩和ケア 掲示物



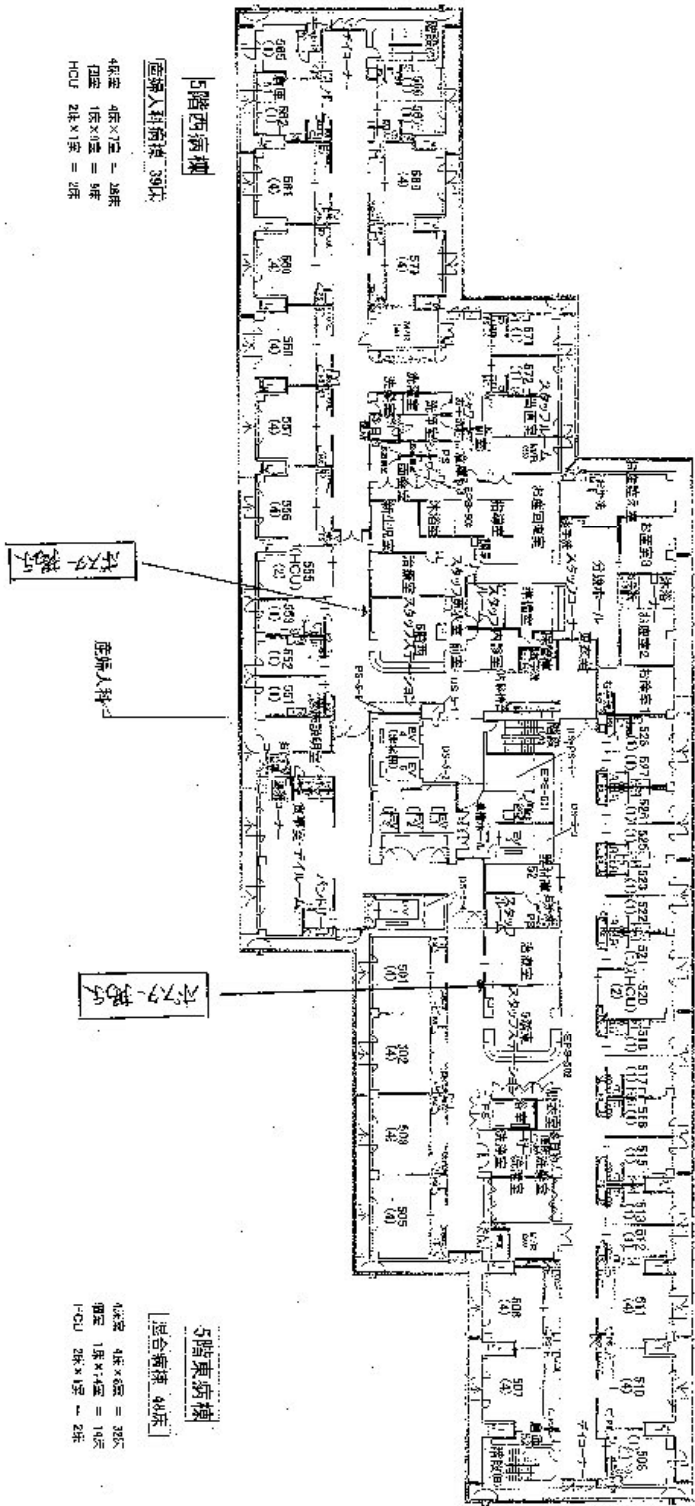
設置図 別添

2階平面図



4床室 4床×6室 = 24床
 個室 1床×6室 = 6床
 HCU 2床×1室 = 2床

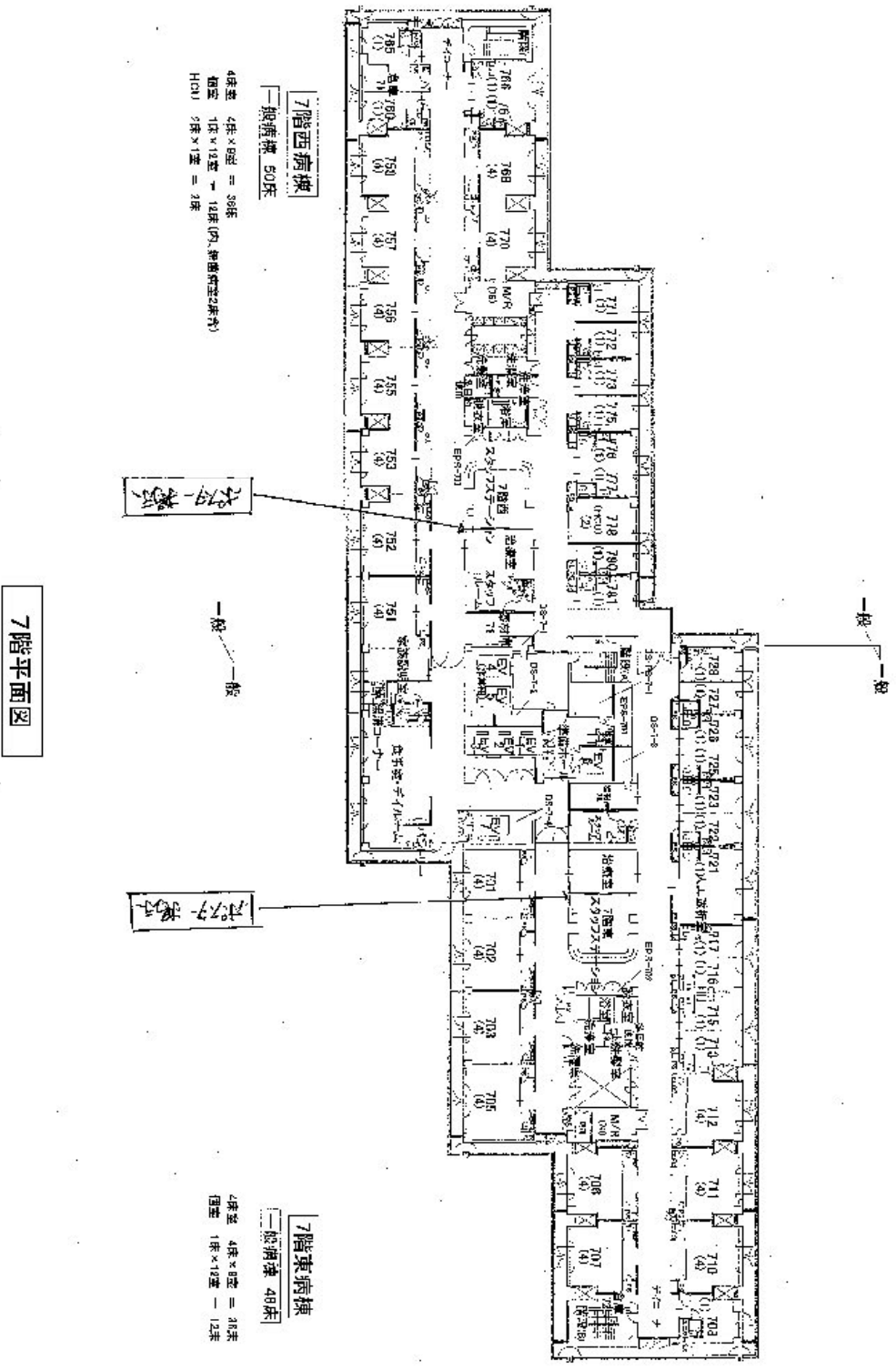
5階西病棟
産婦人科病棟 39床



4床室 4床×6室 = 24床
 個室 1床×4室 = 4床
 HCU 2床×1室 = 2床

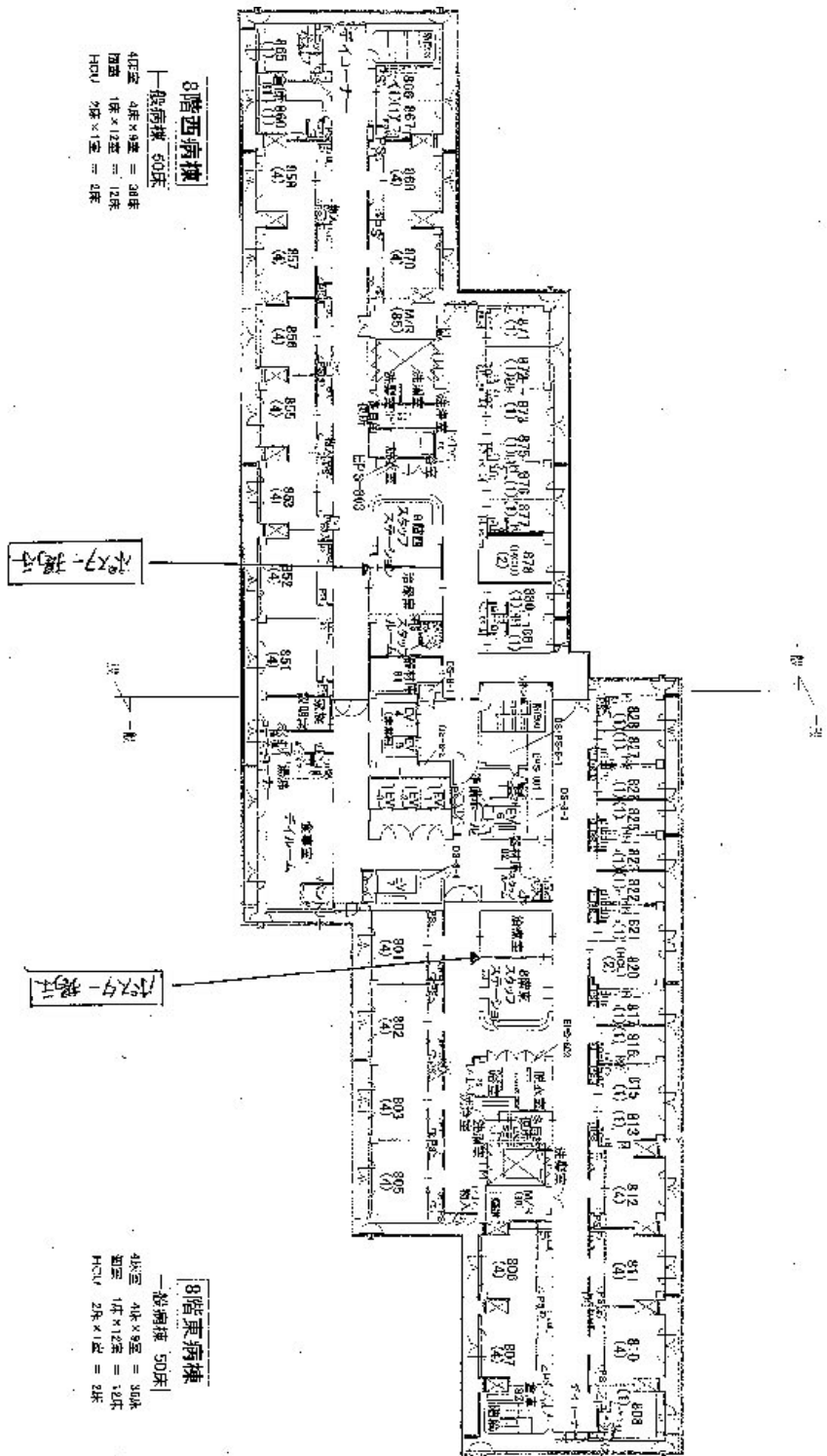
5階東病棟
混合病棟 40床

5階平面図



7階平面図

8階平面図



8階西病棟
 一般病棟 60床
 4F室 4床×9室 = 36床
 個室 1床×12室 = 12床
 HCU 2床×1室 = 2床

8階東病棟
 一般病棟 50床
 4F室 4床×8室 = 32床
 個室 1床×12室 = 12床
 HCU 2床×1室 = 2床

緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する
身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、
看護師(*)の専門性

病院名

八尾市立病院

	チームでの役割	診療科(医師のみ記載)	常勤/非常勤	専従/専任/兼任	緩和ケアの経験年数	専門医等資格
(例)	身体症状の緩和に携わる医師	麻酔科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	身体症状の緩和に携わる医師	泌尿器科	常勤	兼任	29年	がん治療医認定機構認定医
2	身体症状の緩和に携わる医師	麻酔科	常勤	兼任	14年	麻酔科学会専門医、ペインクリニック専門医
3	身体症状の緩和に携わる医師	外科	常勤	兼任	14年	がん治療医認定機構認定医
4	身体症状の緩和に携わる医師	化学療法科	常勤	兼任	5年	内科学会認定医
5	看護師		常勤	兼任	31年	
6	看護師		常勤	兼任	22年	緩和ケア認定看護師
7	看護師		常勤	兼任	20年	緩和ケア認定看護師
8	看護師		常勤	兼任	15年	
9	看護師		常勤	兼任	9年	
10	看護師		常勤	兼任	7年	
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

* 緩和ケアチームの看護師については、緩和ケアに従事する十分な時間が確保された者が、日常的に院内の全病棟を横断的に活動することにより、病院全体で専門的な緩和ケアを提供する役割を担うものである。病棟ごとに配置する緩和ケア担当看護師(いわゆる「リンクナース」)を、記載しないようにすること。

病理診断について他の医療機関から協力によって対応できる体制

平成22年1月から12月について記載

病院名

	病理診断について協力をうける医療機関名	所在地	紹介患者数
(例)	〇〇〇病院	〇〇市〇〇町〇—〇—〇	35人
1	自院で対応		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において病理診断を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

病院名

八尾市立病院

	職種	診療科	常勤 /非常勤	専従/専 任/兼任	対象領域の 経験年数	専門医等資格
(例)	医師	病理診断科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	医師	病理診断科	常勤	専従	22年	日本病理学会病理専門医(1994年) 日本臨床細胞学会 細胞診専門医(2003年)
2	医師					
3	医師					
4	医師					
5	医師					
6	医師					
7	医師					
8	医師					
9	医師					
10	医師					
11	医師					
12	医師					
13	医師					
14	医師					
15	医師					
16	医師					
17	医師					
18	医師					
19	医師					
20	医師					

専任：当該療法の実施を専ら担当していることをいう。この場合において「専ら担当している」とは、担当者となっていればよいものとし、その他診療を兼任していても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事している必要があるものとする。

専従：当該療法の実施日において、当該療法に専ら従事していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、その就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していることをいう。

地域の医療機関への診療支援や病病連携・病診連携の体制

病院名 八尾市立病院

平成22年6～7月に連携実績があった医療機関数、紹介件数、逆紹介件数

	連携した医療機関数	他医療機関からの 受け入れ件数	他医療機関への 紹介件数
(例)	25	80	90
	140	194	163

※がん患者のみ

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
(例)	〇〇診療所	2	4
1	鶴田耳鼻咽喉科クリニック	32	20
2	医療生協 八尾クリニック	11	4
3	南クリニック	11	5
4	八尾徳洲会総合病院	9	10
5	長吉総合病院	9	1
6	うめもと循環器科・内科クリニック	5	3
7	貴島中央病院	4	3
8	若草第一病院	4	3
9	高田医院	3	0
10	豊田外科内科診療所	3	1
11	市立柏原病院	3	2
12	奥村クリニック	3	3
13	大北クリニック	3	1
14	リナプレスト・ウイメンズクリニック	3	2
15	だてクリニック	2	3
16	竹中医院	2	0
17	大阪市立大学医学部附属病院	2	4
18	石田整形外科	2	1
19	医真会総合クリニックス	2	1
20	東大阪市立総合病院	2	2
21	北野内科クリニック	2	0
22	大阪府立成人病センター	2	4
23	大阪警察病院	2	0
24	大阪大学医学部附属病院	2	2
25	西山診療所	2	1
26	小松病院	2	0
27	米井耳鼻咽喉科内科医院	1	2
28	ふるかわ内科クリニック	1	0
29	水野整形外科	1	1
30	ハヤシクリニック	1	2

病院名 八尾市立病院

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
1	上古代外科	1	1
2	萩原クリニック	1	1
3	長岡診療所	1	0
4	柏木クリニック	1	0
5	佐々木産婦人科医院	1	0
6	なかじまレディースクリニック	1	0
7	さだ内科クリニック	1	2
8	安田医院	1	0
9	中島産科婦人科	1	0
10	稲葉医院	1	0
11	久保医院	1	0
12	松井医院	1	0
13	白鷺病院	1	0
14	田中のリクリニック	1	2
15	松尾クリニック	1	0
16	中西診療所	1	1
17	吉馴整形外科産婦人科	1	0
18	藤原医院	1	0
19	井関クリニック	1	0
20	平井診療所	1	0
21	黒瀬胃腸科外科診療所	1	0
22	大阪鉄道病院	1	0
23	岡田クリニック	1	1
24	共立病院	1	1
25	河内総合病院	1	1
26	明治橋病院	1	0
27	辰巳内科医院	1	0
28	いぬいクリニック	1	1
29	稲葉医院(八尾市)	1	1
30	吉田クリニック	1	0
31	北野病院	1	0
32	貴島病院本院	1	0
33	住友病院	1	0
34	全南病院	1	0
35	大阪医療センター	1	1
36	中谷クリニック	1	1
37	たつの胃腸科・整形外科	1	0
38	タミヤ歯科医院	1	1
39	宇野医院	1	2
40	近畿大学医学部附属病院	1	0

地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況

平成22年4月～8月の間に実施したもの

病院名

八尾市立病院

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数	内容
(例1)	11月20日	2時間	XXX地域連携連絡協議会	二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	50人	地域の医療機関での外来化学療法中の急変時等の緊急時の相談窓口や受入について
(例2)	12月7日	2時間	〇〇〇地域肺がん診療連携連絡部会	肺がん診療を行っている二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	20人	肺がんに関する地域連携クリティカルパスについて
2	7月22日	2	大阪府がん診療連携協議会	大阪府内医療	KKRホテル大阪	80	今年度の活動内容等について
3	6月18日	2	大阪府がん診療連携協議会 平成22年度 第1回がん登録部会	大阪府内医療	大阪府立成人病セン	80	がん登録について
4	7月8日	2	第1回地域連携クリティカルパス部会	大阪府内医療	KKRホテル大阪	80	地域連携パスの進捗状況
5	4月17日	2	八尾地域連携合同研究会	八尾市内医療	東映ホテル	40	がん診療連携について
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

**5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、
手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師による
セカンドオピニオンを提示する体制**

期間 平成22年9月1日時点

病院名

八尾市立病院

■ ホームページ「セカンドオピニオン」のページの掲載内容		
1	セカンドオピニオンに対応している疾患名を掲載している	はい
2	セカンドオピニオンの対応件数を掲載している	いいえ
3	セカンドオピニオンを担当している医師名と所属診療科名を掲載している	はい
4	セカンドオピニオンを担当している医師の専門分野を掲載している	はい
5	上記の内容を掲載しているページのURL	

5大がん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
(例) 肺がん	対応可	あり	呼吸器内科 呼吸器外科	2 1	肺がん 胸腔鏡手術
肺がん	対応可	なし	内科(化学療法科)	1	腫瘍内科
胃がん	対応可	あり	内科(化学療法科) 内科(消化器内科)	1 1	腫瘍内科 肝臓病 肝臓癌 消化器病一般
大腸がん	対応可	あり	内科(化学療法科)	1	腫瘍内科

肝がん	対応可	あり	内科(消化器内科)	1	肝臓病 肝癌 消化器病一般
乳がん	対応可	あり	外科(乳腺外科)	2	乳腺疾患

5大がん以外のがん	セカンドオピニ オンの対応状況 (対応可・対応 不可)	セカンドオピニ オンの実績 ※平成21年1月 1日から12月31 日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別 の人数	専門分野
脳腫瘍	対応不可	なし			
脊髄腫瘍	対応不可	なし			
眼、眼窩腫瘍	対応不可	なし			
頭頸部がん	対応可	なし	耳鼻咽喉科	1	耳科咽喉科一般
甲状腺がん	対応不可	なし			
食道がん	対応可	なし			
縦隔腫瘍	対応不可	なし			
中皮腫	対応不可	なし			

5大がん以外のがん	セカンドオピニオン の対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオン の実績 ※平成21年1月1日 から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
膵がん	対応可	なし	内科(消化器内科)	1	肝臓病 肝臓癌 消化器病一般
胆道がん	対応可	あり	内科(消化器内科)	1	肝臓病 肝臓癌 消化器病一般
十二指腸・小腸がん	対応可	なし	外科	2	消化器外科 (特に肝胆道系外科) 肝臓癌 大腸・肛門疾患 消化器外科 消化器中視鏡
腎がん	対応可	なし	泌尿器科	1	泌尿器癌(手術療法、 化学療法)、 泌尿器科一般
膀胱がん	対応可	なし	泌尿器科	1	泌尿器癌(手術療法、 化学療法)、 泌尿器科一般
尿路がん	対応可	なし	泌尿器科	1	泌尿器癌(手術療法、 化学療法)、 泌尿器科一般
副腎腫瘍	対応可	なし	泌尿器科	1	泌尿器癌(手術療法、 化学療法)、 泌尿器科一般
前立腺がん	対応可	なし	泌尿器科	1	泌尿器癌(手術療法、 化学療法)、 泌尿器科一般
精巣がん	対応可	あり	泌尿器科	1	泌尿器癌(手術療法、 化学療法)、 泌尿器科一般
その他の男性生殖器がん	対応可	なし	泌尿器科	1	泌尿器癌(手術療法、 化学療法)、 泌尿器科一般

5大がん以外のがん	セカンドオピニ オンの対応状況 (対応可・対応 不可)	セカンドオピニ オンの実績 ※平成21年1月 1日から12月31 日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別 の人数	専門分野
子宮がん(子宮がん検診)	対応可	なし	産婦人科	1	産婦人科
卵巣がん	対応不可				
その他の女性生殖器がん	対応不可				
皮膚腫瘍	対応不可				
悪性骨軟部腫瘍	対応不可				
血液腫瘍	対応可	なし	内科(血液内科) 内科(化学療法科)	1 1	血液内科
小児固形腫瘍	対応不可				
小児血液腫瘍	対応不可				
原発不明がん	対応可	なし	内科(化学療法科)	1	腫瘍内科
性腺外胚細胞腫瘍	対応不可				
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor:消化管間 質腫瘍)	対応不可				

5大がん以外のがん	セカンドオピニオン の対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオン の実績 ※平成21年1月1日 から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の 人数	専門分野
整形外科疾患群	対応可	あり	整形外科	1	スポーツ外傷・障害、 膝関節
口腔癌・顎口腔疾患	対応可	なし	歯科口腔外科	1	口腔外科、歯科
疾患名：					

各治療	セカンドオピニオン の対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオン の実績 ※平成21年1月1日 から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の 人数	専門分野
化学療法	対応可	なし	内科(化学療法科)	1	血液内科 腫瘍内科
放射線療法	対応不可	なし			
緩和ケア	対応不可	なし			

セカンドオピニオンに関する情報提供

期間 平成22年9月1日現在

病院名

八尾市立病院

実施方法	セカンドオピニオン外来で対応	(一般外来で対応、セカンドオピニオン外来で対応、その他)
その他の場合	対応なし	
セカンドオピニオンの問い合わせ先と申し込み方法		
窓口名	電話にて問い合わせ 申込書に必要書類を添えて申し込み	
電話番号	072-922-0887	
FAX番号	なし	
e-mail	なし	
対応時間	午前11時～午後4時	
必要な紹介状・資料が揃わない 場合の対応	初診として診療科外来へ紹介	(受付不可、初診として診療科外来へ紹介、その他)
その他の場合		
セカンドオピニオンを患者本人 以外への対応	本人の同意があれば可	(可、本人の同意があれば可、不可)
通常料金	60 分まで 21,000 円	
超過料金	分につき 円	
その他の料金 (詳細と金額)		
相談時間の制限	なし	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)		分

がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況

期間 平成22年4月1日～8月31日

病院名	八尾市立病院
件数	1

	名称	活動日時	活動場所	参加者の対象疾患名	活動内容	相談支援窓口職員の関与の有無
(例)	乳がん勉強会	年1回 10月第2月曜	相談支援センター	乳がん患者・乳がん経験者	乳がん専門医による講演・意見交換	あり
(例)	患者サロン	毎週木曜日 9-17時	病院1階受付横の部屋	がん全般	自由に立ち寄り語り合える場を提供している	なし
1	がん相談支援センターミニ勉強会	年3～4回	栄養指導室	がん全般	患者・家族が語り合いながら共に学べる場を提供している。	あり
2						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

(別紙23)

国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会への協力及び参加状況

平成21年11月～22年8月の間に実施されたもの

病院名 八尾市立病院

	参加済/ 協力済	開催日	時間	実施病院、名称	開催場所	種類	参加/ 協力人数(人)	内容
(例)	参加済	4月5日	2日間	〇〇病院実施 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	〇〇病院	講義＋ワークショップ	3	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
(例)	協力済	8月3日	2日間	大阪〇〇緩和ケア研修会	〇〇病院	講義＋ワークショップ	1	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの 〇〇の講義に自院の医師が講師として協力
1	参加済	2010/5/15	2日間	東大阪市立総合病院 実施 がん診療に携わる医師に対する緩和ケ	東大阪市立総合病	講義＋ワークショップ	1	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
2	参加済	2010/7/11	2日間	大阪府立急性期・総合医療センター実施 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	大阪府立急性期・総合医療センター	講義＋ワークショップ	1	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
3	参加済	2010/9/10	3日間	日本緩和医療学会実施 緩和ケアの基本教育に関する指導者研修	大阪アカデミア	講義＋ワークショップ	1	緩和ケアの基本教育に関する指導者研修
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

※参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

※国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)で示している緩和ケア標準プログラムのことである。

(別紙24)

国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした
がんの早期診断に関する研修への協力及び参加状況

平成22年4月～22年8月の間に実施されたもの

病院名

八尾市立病院

	参加済/ 協力済	開催日	時間	実施病院、名称	対象	開催場所	種類	参加/協力 人数(人)	内容
(例)	協力済	4月12日	2時間	××病院 胃X線読影 研修会	二次医療圏内医 師	XX病院 会議室	講義	1	放射線科医師を、早期胃がん胃X線画像読影の ポイントに関する研修へ講師として派遣
(例)	参加済	8月11日	1時間	〇〇セミナー	二次医療圏内医 師・看護師	〇〇病 院	講義	4	〇〇についてのセミナーを受講
1	参加済	6月11日	2時間	第32回日本癌局所療 法研究会	医師	奈良ホテ ル	講義	1	研究会に参加
2	参加済	7月8日	2時間	第46回日本肝がん研 究会	医師	大阪国際	講義	1	研究会に参加
3	参加済	6月16日	2日間	第18回日本乳癌学会 学術総会	医師	札幌		3	学会に参加
4	参加済	8月16日	2日間	第16回日本臨床腫瘍 学会教育セミナー	医師	横浜		1	学会に参加
5									
6									
7									
8									
9									
10									

※参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

**国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の
医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況**

平成22年4月～22年8月の間に実施されたもの

病院名

八尾市立病院

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数 (人)	内容
(例)	4月20日	2時間	〇〇病院実施 ××地域肺がん合同カンファレンス	二次医療圏内医療従事者	△△病院会議室	2	病院と在宅療養支援診療所の連携により円滑な在宅医療への移行が可能であった症例を通じて学ぶ「退院前カンファレンス」の開催のポイント
1	6月19日	2時間	相談支援センター部会	大阪府がん拠点病院	大阪成人病センター	2	相談支援に対する問題等の解決
2	6月18日	2時間	がん登録勉強会	大阪府がん拠点病院	大阪成人病センター	2	がん登録に関する勉強会
3	6月19日	2時間	がん診療連携協議会	大阪府がん拠点病院	大阪成人病センター	2	がん診療の連携について
4	7月8日	2時間	地域連携パス部会	大阪府がん拠点病院	KKRホテル	2	地域連携パスについて
5	4月26日	2日間	相談支援センター相談員基礎研修会	相談支援センター職員	東京	1	相談支援センター基礎研修
6	6月1日	3日間	相談支援センター相談員基礎研修会	相談支援センター職員	東京	1	相談支援センター基礎研修
7							
8							
9							
10							

※参加人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

相談支援窓口の相談対応状況

期間 平成22年9月1日現在

病院名 八尾市立病院

相談支援窓口の名称	がん相談支援センター		
相談支援窓口の電話番号			
問い合わせ先電話番号	072-922-0881		
電話相談の電話番号	072-922-0881		上記問い合わせ先と異なる場合のみにご記入ください
※相談支援窓口が独立していない場合、患者さんが最初に問い合わせる窓口	がん相談支援センター		例：医療連携室
相談支援窓口の対応曜日と対応時間			
対応曜日と対応時間	毎週月曜～金曜 9:30～16:30		
対面相談の対応曜日と対応時間	毎週月曜～金曜 9:30～16:30		上記の対応時間内で対面相談の時間設定がある場合のみ記入してください
電話相談の対応曜日と対応時間	時間設定なし		上記の対応時間内で電話相談の時間設定がある場合のみ記入してください
対面相談の実施	実施		(実施、未実施)
予約の要否	必要		(必要、不要)
時間制限の有無	あり		(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)	30		
電話相談の実施	実施		(実施、未実施)
予約の要否	必要		(必要、不要)
時間制限の有無	あり		(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)	30		
FAX相談の実施	未実施		(実施、未実施)
FAX相談のためのFAX番号			
e-mail相談の実施	未実施		(実施、未実施)
email相談のためのe-mail			
相談員の職種	臨床心理士、看護師、医療ソーシャルワーカー、(その他場合によって、医師、薬剤師、医事など)		
ピアサポート提供の有無	なし		(あり、なし)
ありの場合は具体的な活動内容を記載してください	院内ではピアサポートグループはありませんが、必要に応じて外部に紹介しています。		※ピアサポートとは、がんを経験された方やご家族による支援活動を指しています
相談者が利用できる資料	各がんの冊子、雑誌、DVD、パンフレット、図書		例：図書、雑誌、ビデオ・DVD、パンフレット、インターネット
うち参考図書の冊数(冊)	66		※雑誌と冊子を含まず
自施設を受診していない患者さんやご家族の利用	可		(可、不可)
地域の患者会の情報提供の有無	あり		(あり、なし)
提供可能な地域の患者会の数			

**相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との
連携協力体制構築の取り組みの状況**

病院名

八尾市立病院

	がん患者団体名	活動内容	相談支援窓口 職員の関与の 有無
	(例)XX病院血液がん患者の会	3ヶ月に1回、患者会と共同で、勉強会を開催して、その中で相談会も実施している。	あり
1	ピンクリボン大阪	ピンクリボン・チャリティー ア・カペラコンサートの協力 イベントの広報協力	なし
2	がんと共に生きる会	イベントの広報協力	なし
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口

期間 平成22年9月1日現在
 病院名 八尾市立病院

1.セカンドオピニンの問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)自施設のセカンドオピニンについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんや ご家族向けの 問い合わせ窓口	窓口名	セカンドオピニオン担当(地域医療連携室窓口)
	電話	072-922-0887
	FAX	072-924-4820
	電子メール	なし
	受付時間	平日 午前11時～午後4時
	ホームページのURL	http://www.hospital.yao.osaka.jp/outpatient/second-opinion/
2)自施設のセカンドオピニンについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの 問い合わせ窓口	窓口名	セカンドオピニオン担当(地域医療連携室窓口)
	電話	072-922-0887
	FAX	072-924-4820
	電子メール	なし
	受付時間	平日 午前11時～午後4時
	ホームページのURL	http://www.hospital.yao.osaka.jp/outpatient/second-opinion/

2.緩和ケアの問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)緩和ケア外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
2)自施設の緩和ケアについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんや ご家族向けの 問い合わせ窓口	窓口名	がん相談支援センター
	電話	072-922-0881
	FAX	072-922-8167
	電子メール	なし
	受付時間	9:30～16:30
	ホームページのURL	なし
3)自施設の緩和ケアについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの 問い合わせ窓口	窓口名	がん相談支援センター
	電話	072-922-0881
	FAX	072-922-8167
	電子メール	なし
	受付時間	9:30～16:30
	ホームページのURL	なし

3.緩和ケア病棟の問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)緩和ケア病棟で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
2)自施設の緩和ケア病棟について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3)自施設の緩和ケア病棟について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

4.臨床試験・治験の問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が一本化している		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	八尾市立病院 臨床研究事務局
	電話	072-922-0881(内線3125)
	FAX	072-922-0754
	電子メール	
	受付時間	(月～金)9:00～17:00
	ホームページのURL	なし
2)自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口が一本化している		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	八尾市立病院 臨床研究事務局
	電話	072-922-0881(内線3125)
	FAX	072-922-0754
	電子メール	yao5476@city.yao.osaka.jp
	受付時間	(月～金)9:00～17:00
	ホームページのURL	なし

■ がんの診療に関する専門外来の問い合わせ窓口について

1. ストーマ外来についての問い合わせ窓口

※3) または4) がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) ストーマ外来がある		はい
2) ストーマ外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
3) 自施設のストーマ外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	セカンドオピニオン担当(地域医療連携室窓口)
	電話	072-922-0887
	FAX	072-924-4820
	電子メール	なし
	受付時間	平日 午前11時～午後4時
	ホームページのURL	
4) 自施設のストーマ外来について、医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

2. リンパ浮腫外来の問い合わせ窓口

※3) または4) がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) リンパ浮腫外来がある		いいえ
2) リンパ浮腫外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

3.その他の外来でのケアについての問い合わせ窓口

1)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

2)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

3) ※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください
 ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください

の問い合わせ窓口
い

(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名		
	電話		
	FAX		
	電子メール		
	受付時間		
	ホームページのURL		
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名		
	電話		
	FAX		
	電子メール		
	受付時間		
	ホームページのURL		

4) ※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください
 ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください

の問い合わせ窓口
い

(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名		
	電話		
	FAX		
	電子メール		
	受付時間		
	ホームページのURL		
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名		
	電話		
	FAX		
	電子メール		
	受付時間		
	ホームページのURL		

院内がん登録の登録実施項目

がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2006年度版修正版

2006年度版修正版項目

- ◆ : 必須項目
● : 標準項目

自施設で全がんに対して登録している項目に「○」、全がんでなく一部のがん種に限っての登録項目に「△」、非登録項目に「×」を右の「登録している項目」欄に全項目について記入すること。

大項目	項目番号	項目名	必須/標準の別	登録している項目	
基本情報	10	患者ID番号	◆●	○	
	20	重複番号	●	△	
	40	氏名	◆●	○	
	50	性別	◆●	○	
	60	生年月日	◆●	○	
	診断情報	90	診断時都道府県コード	●	○
100		診断時住所(詳細)	●	○	
101		診断時住所(市区町村)	◆	○	
110		当該腫瘍初診日	●	○	
130		診断日1(他施設診断日)	●	○	
140		診断日2(自施設診断日)	●	○	
141		診断日	◆	○	
150		来院経路	●	○	
152		発見経緯	●	○	
153		来院・発見の経緯	◆	○	
160		診断区分(診断結果)	●	○	
161		診断施設	●	○	
170		治療方針	●	○	
180		症例区分	●	○	
182		診断及び初回治療・経過観察が行われた施設の別	◆	○	
腫瘍情報		200	診断名コード	◆●	○
		210	診断名テキスト	◆●	○
		220	部位の側性	●	○
	230	ステージ(治療前・UICC)	●(5部位)	○	
	231	治療前のステージ(主要5部位)	◆(5部位)	○	
	232	ステージ(治療前・取扱い規約)	●(肝がん)	○	
	240	TNM分類(UICC)T分類	●	○	
	250	TNM分類(UICC)N分類	●(5部位)	○	
	260	TNM分類(UICC)M分類	●	○	
	270	ステージ(術後病理学的・UICC)	●(5部位)	○	
	280	pTNM分類(UICC)pT分類	●	○	
	290	pTNM分類(UICC)pN分類	●(5部位)	○	
300	pTNM分類(UICC)pM分類	●	○		
腫瘍情報	310	進展度(治療前)	●	○	
	320	進展度(術後病理学的)	●	○	
	330	組織診断名コード	◆●	○	
	340	組織診断名テキスト	◆●	○	
	350	診断根拠	●	○	
	351	病理組織標本由来	●	○	
	352	診断に寄与した検査	◆	○	
	460	外科的	◆●	○	
	480	・内視鏡的	◆●	○	
	500	・体腔鏡的	◆●	○	
	520	治療	●	○	
	530	入院日(初回治療)	●	○	
	550	放射線治療	◆●	○	
	560	化学療法	◆●	○	
	570	免疫療法・BRM	●	○	
	580	内分泌療法	●	×	
	590	TAE	●	○	
	600	PEIT	●	○	
610	温熱療法	●	○		
620	レーザー等治療(焼灼)	●	○		
629	その他の治療	●	○		
予後情報	640	生存最終確認日	◆●	○	
	650	死亡日	◆●	○	
	660	予後調査結果	●	×	
	720	予後調査方法	●	×	
その他	860	登録日	●	○	
	861	最終更新日	◆	○	
	870	定義バージョン	●	×	

※ 項目の定義については、「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2006年度版 修正版」を参照すること
http://ganjoho.ncc.go.jp/hospital/cancer_registration/registration01.html

患者・府民を対象としたがんに関する講演会の実施状況

平成22年4月～8月の間に実施したもの

病院名

八尾市立病院

	開催日	時間	名称	開催場所	種類	参加人数	講師	内容
(例)	4月26日	3時間	* * 病院がん市民講演会	〇〇市民ホール	セミナー	200人	院内1人 院外2人	科学的根拠に基づくがん検診について
1	6月26日	3時間	消化器内科でここまでできる がん治療	八尾市立病院	セミナー	83人	院内3人	内視鏡治療経皮的治療の最前線
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

府民へのメッセージ

八尾市立病院

府民へのメッセージ(各項目200字以内)

大阪府がん診療拠点病院として

既に国からの指定を受けている「がん診療連携拠点病院」と協力し、地域住民の皆さんに対する“がん医療”の一層の充実を図ってまいります。

がん診療に関する当院の特長

当院は、がん患者さんに対し、がん治療の専門医が中心となり、各科横断的連携を図りながら、手術・化学療法・放射線療法等を実施して、最善の治療を行うように努めています。

相談支援窓口について

がんに関するあらゆる疑問や心配事に対して、医療ソーシャルワーカー、診療心理士、看護師が問題解決のお手伝いや助言をさせていただきます。
八尾市立病院受診の有無を問わずにご相談いただき、問題や不安を少しでも軽減できるよう、各専門スタッフが連携をとりながら取り組んでいます。

緩和ケアの提供体制について

がんなどで苦しむ患者さんを1人でも少なく9するため、専門各科を超えて何でも相談できるようコミュニケーションを確立し、身体症状や精神症状等の緩和ケアに関する専門的な知識や技術を提供し、患者さんのニーズに応えられるようなチーム医療を提供します。

【八尾市立病院】

平成22年度診療報酬改訂により、新たに追加された項目について、平成22年4月以降、算定している項目については、件数欄の「〇〇部分」に入力してください。
また、エクセル表に記載されていない算定項目がある場合は、項目を追記した上で、算定件数を入力していただきますようよろしくお願い致します。

様式2の3. の(9)の①施設基準を取得した病床数

小児入院医療管理料4 〇〇床
小児入院医療管理料5 〇〇床

様式2の3. の(9)の③診療報酬に係る施設基準等

慢性期病棟等退院調整加算(A328) 〇〇件(退院時1回)
急性期病棟等退院調整加算(A328-2) 11(退院時1回)
救命救急入院料3(A300) 〇〇件(1日につき)
救命救急入院料4(A300) 〇〇件(1日につき)
検体検査管理加算(Ⅳ)(D 026) 〇〇件(月1回)
画像診断管理加算1(第4部 通則) 3480(月1回)

様式2の3. の(12)の②麻酔及び手術件数等の状況

ク 転移性肝がん(K695-2) 〇〇件